



TOSTEM

リプラス マンション用装飾窓 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 障子または部材脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・高所作業では安全確保や落下防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
 - ・必ず指定のねじで取付けてください。
 - ・複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。
 - ・後付けビードは必ず指定のものを使用してください。



- サッシ枠などを切断した際には、切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。



- 漏水の原因となりますので下記事項をお守りください。
 - ・既設サッシ枠が別体段窓の場合は、取付け出来ません。
 - ・指定箇所へは、必ず気密テープを張付けてください。
 - ・パークランプは水平に掛けて、止水材がつぶれるまでクランプしてください。
 - ・既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	指定箇所へ気密テープは張付けされているか、また、気密テープに浮きやすき間はないか	<input type="checkbox"/>
2	パークランプをして止水材がつぶれるまでクランプして施工したか	<input type="checkbox"/>
3	障子の建付け調整はされているか	<input type="checkbox"/>

- 2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



装飾窓
施工説明動画

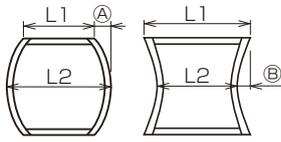


方立カバー
施工説明動画

組立て上のお願い

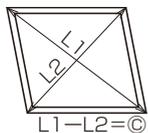
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通することがあります。
- 取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
- 開口に固定する際に、新設サッシ枠が下記の寸法以下になるように取付けてください。
- シールの密着性を保つため、シーリング処理部は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。

■サッシ枠のフレ・ツツミ



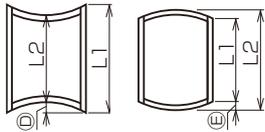
L2-L1	A	L2-L1	B
3	1.5	3	1.5

■サッシ枠対角差



C
3

■サッシ上下枠の内反り・外反り



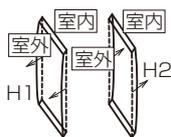
L1-L2	D	L2-L1	E
3	2	3	1.5

■サッシ枠のねじれ



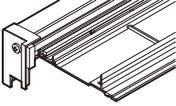
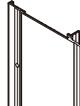
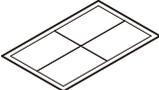
F
2

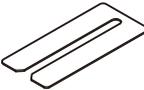
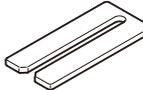
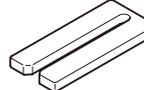
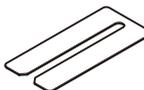
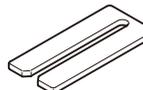
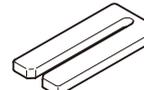
■サッシ枠の室内外の反り



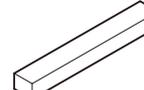
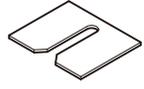
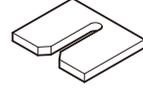
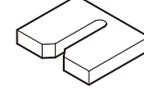
H1	H2
1	1

■部材・部品一覧

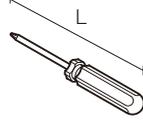
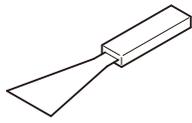
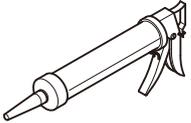
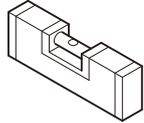
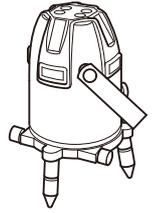
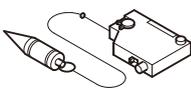
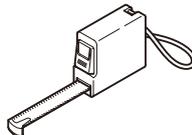
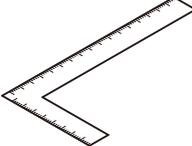
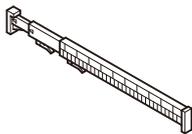
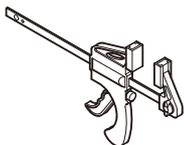
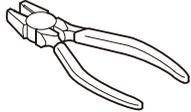
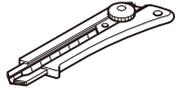
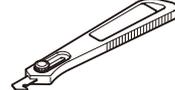
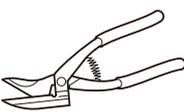
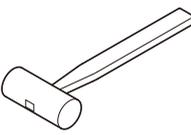
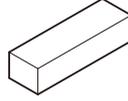
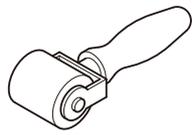
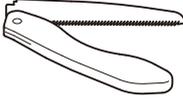
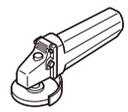
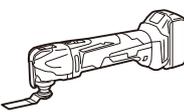
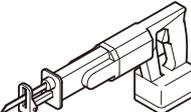
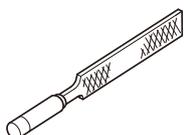
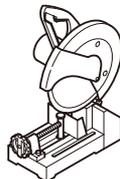
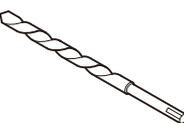
ベース材セット					
上ベース材・上カバー材	縦ベース材	縦カバー材	上・縦ベース・カバー材取付けねじセット		
			上・縦ベース材(見付面)取付けねじ 特平パーリングドリルねじ φ4×10	上・縦ベース材(見込面)取付けねじ なべパーリングドリルねじ φ4×40 (D8)	上・縦カバー材取付けねじ トラス小ねじ φ4×5
下ベース材	下カバー材	下ベース・カバー材取付けねじセット		下枠補強金具固定ねじセット	
		下ベース・カバー材取付けねじ なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	下ベース材取付けねじ 特平パーリングドリルねじ φ4×31 (D7)	下枠補強金具固定ねじ 特平ドリルねじ φ4×8.5	
下チリ用アングル	下チリ用アングル取付けねじセット	先貼りコーナーシールセット			
	下チリ用アングル取付けねじ 皿パーリングドリルねじ φ4×13 (D7)				

枠取付け部品(枠同梱)					
枠取付けねじセット		浴室額縁受け材取付けねじセット	調整スペーサーセット(非防火)		
上・縦枠取付けねじ なべドリルねじ φ4×30	下枠取付けねじ なべドリルねじ φ4×12 (D7)	受け材取付けねじ なべドリルねじ φ4×13 システムバス同時交換の場合のみ			
調整スペーサーセット(防火)					
					

●有償品

施工調整スペーサー角材			枠施工スペーサー小		
					
施工調整スペーサー角材 10×15	施工調整スペーサー角材 20×30	施工調整スペーサー角材 30×40	※下枠と窓枠との段差が15mm未満の場合にご使用いただけます。(非防火のみ)		
アクリル気密テープ					
					
幅50mm×20m巻	幅75mm×20m巻				

■取付けに使用する工具一覧

電動ドライバー	ドライバー(手回し)	ドリル刃	ヘラ	シーリングガン	水準器
 トルク調整付 サイズが小さい場合は、Lの小さいドライバーをご用意してください。	 L	 $\phi 2.0 \cdot \phi 2.5 \cdot \phi 3.4 \cdot \phi 4.5$			
レーザー墨出器	下げ振り	スケール	差し金	直尺	伸縮スケール
					※1 
パークランプ	ペンチ	くい切り	カッター	Pカッター	はさみ
※2 		※4 			
金切ハサミ	木づち	当て木	ローラー	非金属用のこぎり	ディスクグラインダー
※4 					※3 
マルチツール	レシプロソー	ヤスリ	切断機	シーリング材	ハンマードリル(振動ドリル)
※3 	※3 		※4 	 シーリング材 変成シリコーンをご使用ください	
コンクリート用ドリル					
 $\phi 3.5$					

- ※1：開口内々を1人で測定する際に使用します。
- ※2：新設サッシ枠を固定する際に使用します。300mm程度必要です。
- ※3：カバー部が干渉する際に使用します。
- ※4：必ず使用するものではありません。

■新設サッシ枠の施工

■既設サッシの準備

- 1 既設障子と部品の取外し……………P.6
- 2 既設サッシ枠への気密テープの張付け……………P.7
- 3 コーナーシールの張付け……………P.8
- 4 コーナー部のシーリング処理……………P.8
- 5 上ベース材・上カバー材の取付け……………P.9
- 6 縦ベース材の取付け……………P.13
- 7 下チリアングルの取付け……………P.15
- 8 下ベース材の取付け (FIX窓以外)……………P.16
- 9 下ベース材の取付け (FIX窓)……………P.18
- 10 下カバー材の取付け……………P.20
- 11 縦カバー材の取付け……………P.21

■新設サッシ枠の取付け

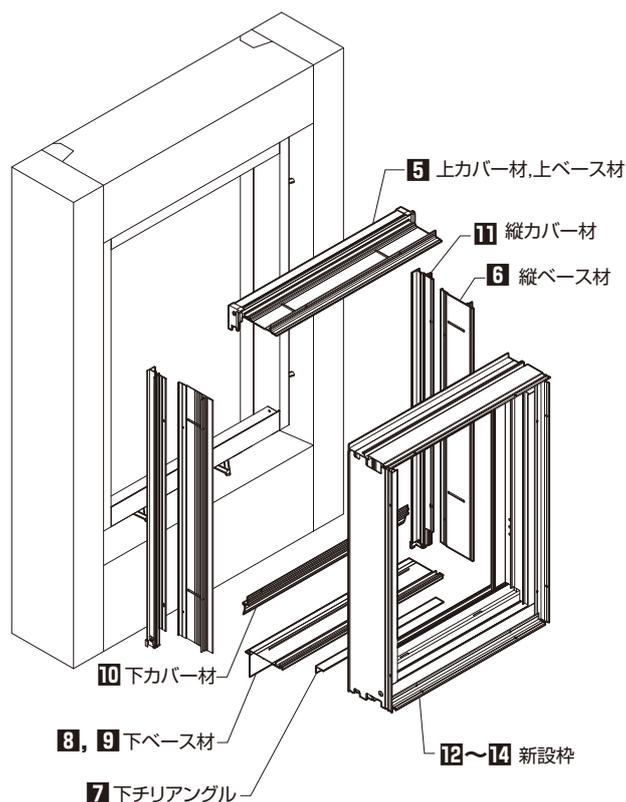
- 12 新設サッシ枠の建込み……………P.23
- 13 新設サッシ枠の仮固定……………P.24
- 14 新設サッシ枠の取付け……………P.25
- 15 気密テープの張付け……………P.28

■有償品の取付け

- 1 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)……………P.29

■新設障子の建付け調整、ガラス建込み

- 1 内倒し窓……………P.33
- 2 FIX窓 内押縁……………P.34
- 3 縦すべり出し窓 グレモン……………P.36
- 4 横すべり出し窓 グレモン……………P.38

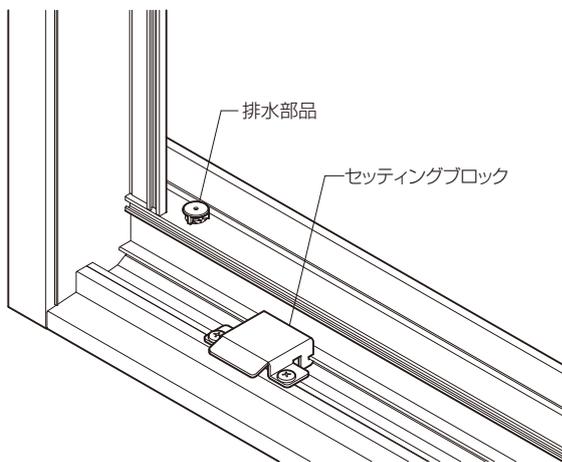
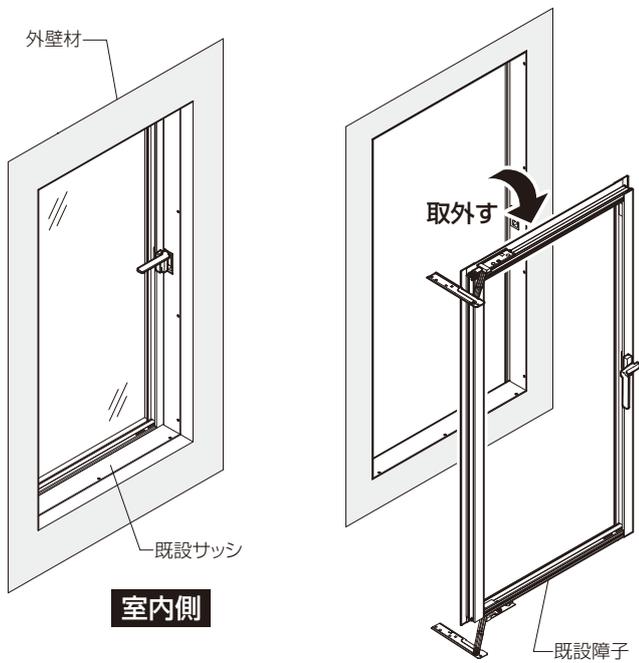


■ 既設サッシの準備

1 既設障子と部品の取外し

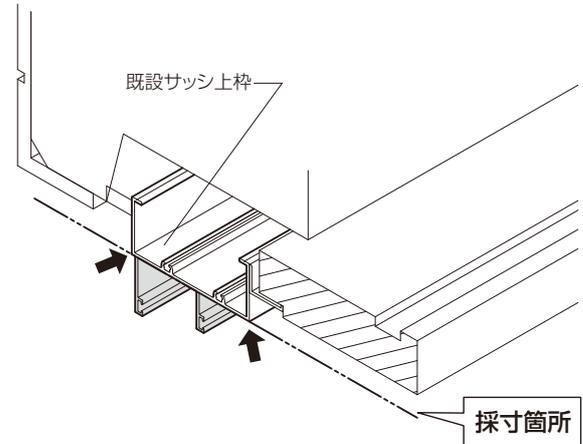
■ 部品の取外し

- ① 既設サッシの障子を取外します。
 - ② 既設サッシ枠に付いている部品(排水部品、セッティングブロックなど)を取外します。
- ※取り外す際に落下しないよう注意してください。

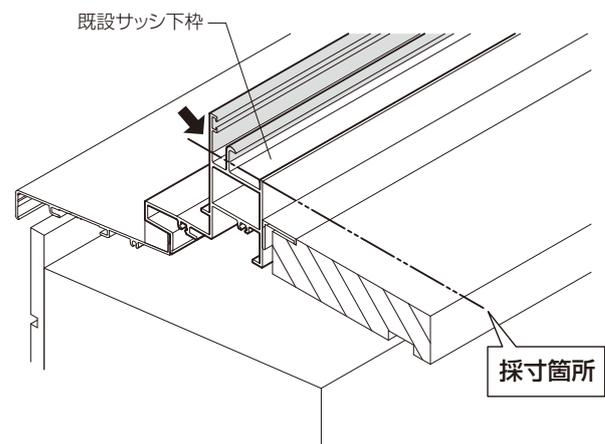


既設サッシ枠アングル(採寸箇所)から飛び出している箇所を切断してください。

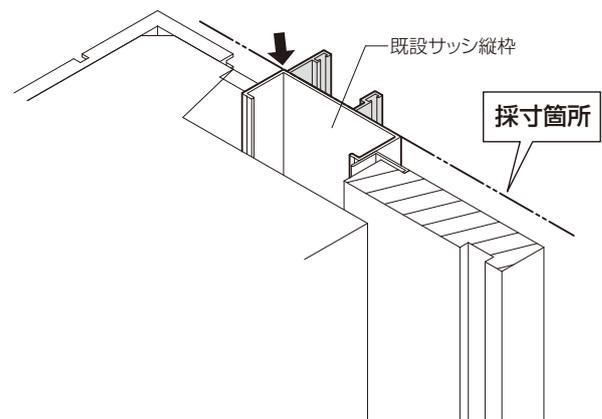
● 上枠部



● 下枠部



● 縦枠部

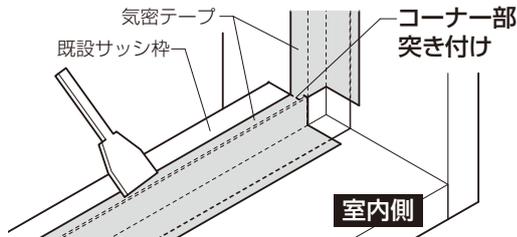


2 既設サッシ枠への気密テープの張付け

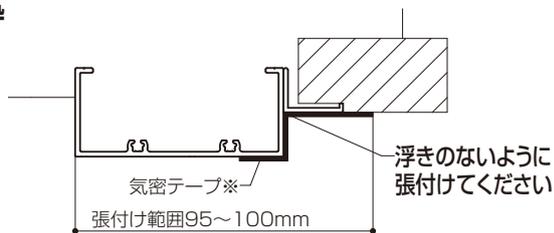
既設サッシ枠から窓枠に気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。

※納まりによって気密テープが窓枠まで張付け出来ない場合があります。

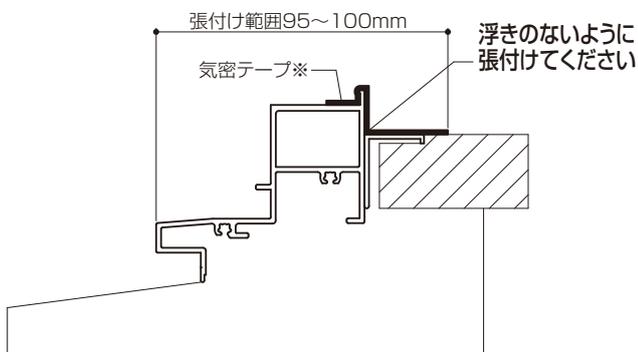
推奨気密テープ幅(mm)	見込み70	50
	見込み60	75



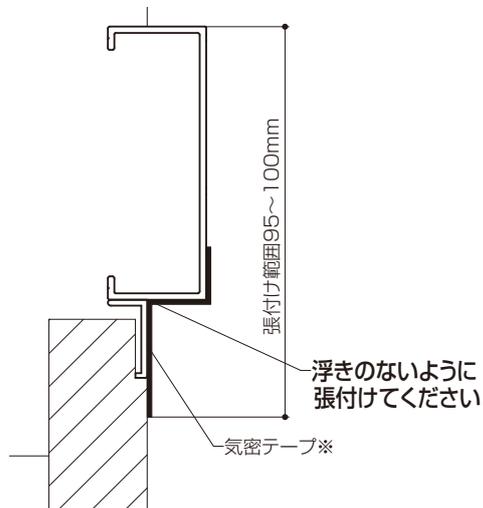
●上枠



●下枠



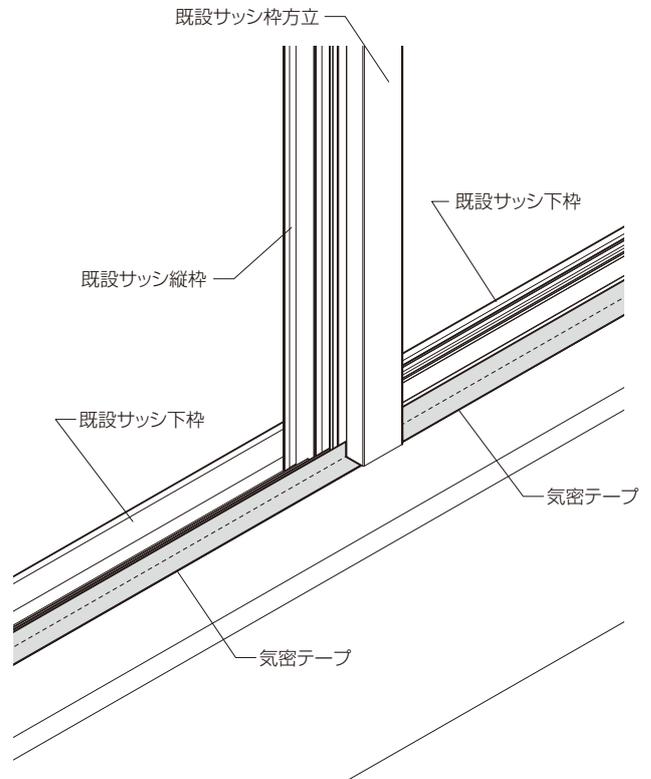
●縦枠



※既設連窓の場合

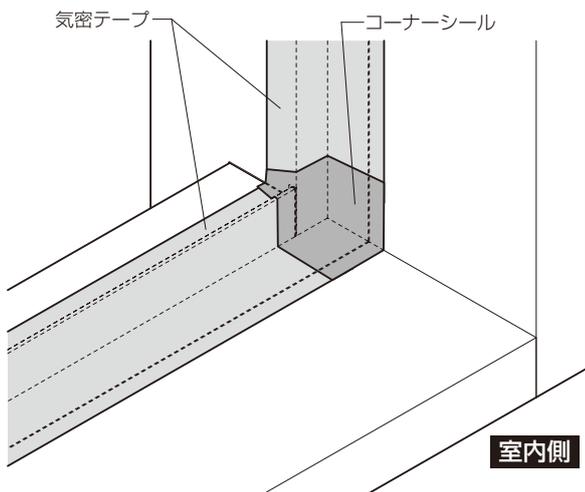
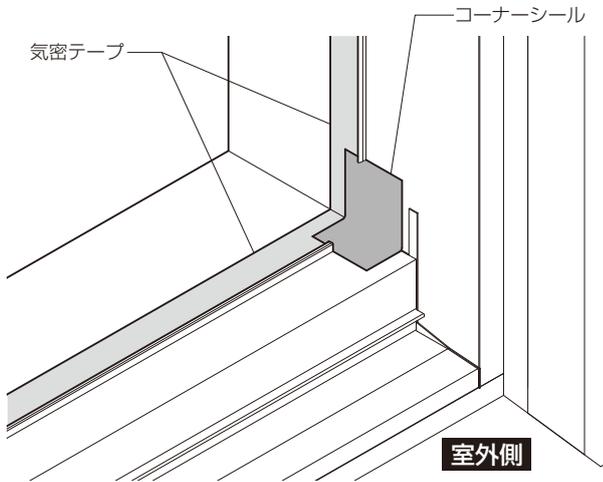
下枠は連窓部まで張付けてください。

方立側の縦枠に気密テープを張付けする必要はありません。



3 コーナーシールの張付け

コーナー部の四隅にコーナーシールを、先に張った気密テープから室内側にはみ出さないように、室外側から室内側へ向かって張付けてください。



4 コーナー部のシーリング処理

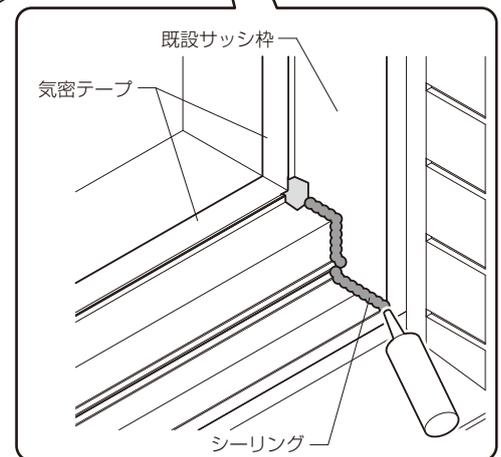
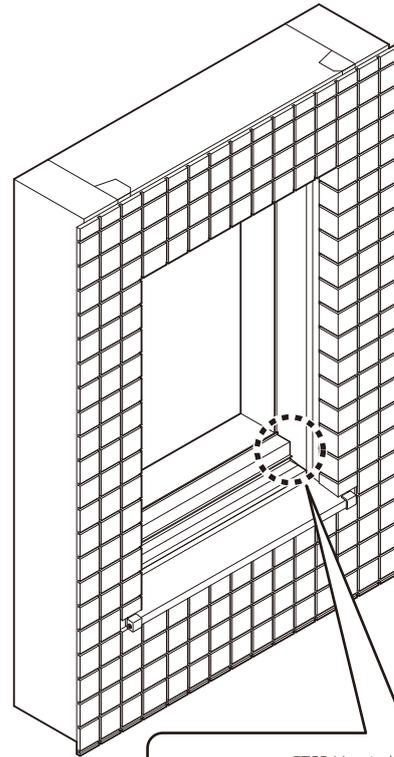
お願い

- シールの密着性を保つため、シーリング処理部は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。

既設サッシ枠のコーキングシーラーが劣化している場合があるため、既設サッシ枠のコーナー部にシーリング処理してください。

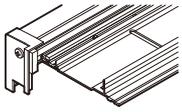
シーリング材専用のプライマーを使用してください。

シーリングはコーナーシールの手前までとしてください。



5 上ベース材・上カバー材の取付け

上ベース材・上カバー材



上ベース材・上カバー材

取付けねじ

上ベース材(見付面)
取付けねじ



特平バーリングドリルねじ
φ4×10

上ベース材(見込面)
取付けねじ

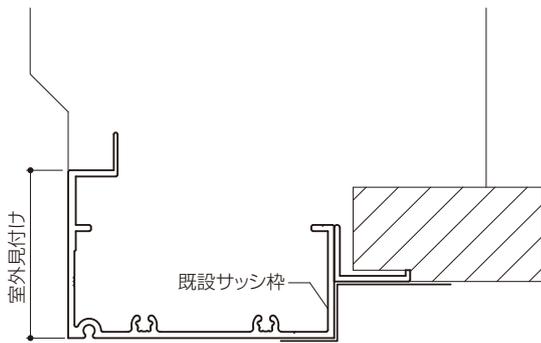


なべバーリングドリルねじ
φ4×40 (D8)

非防火仕様RC納まりの場合はP.10に進んでください。

■ALC納まりの場合

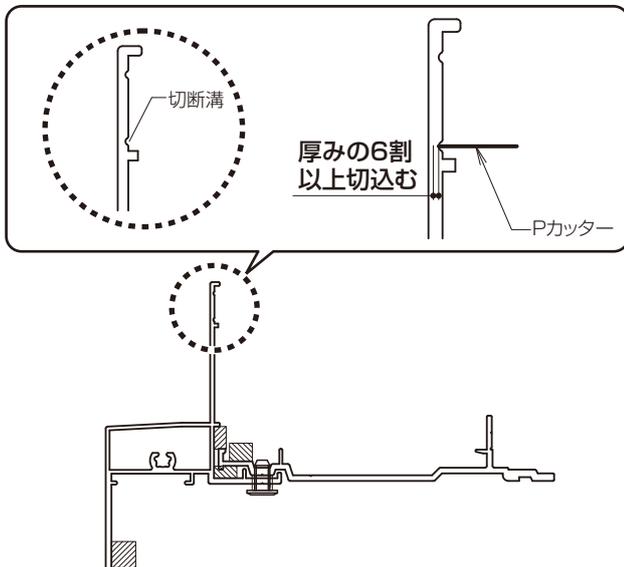
1. 既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
 室外見付け寸法<45mmの場合は2に進んでください。
 室外見付け寸法≥45mmの場合はP.10に進んでください。



2. 上カバー材を切断手順を参考に溝で切断してください。

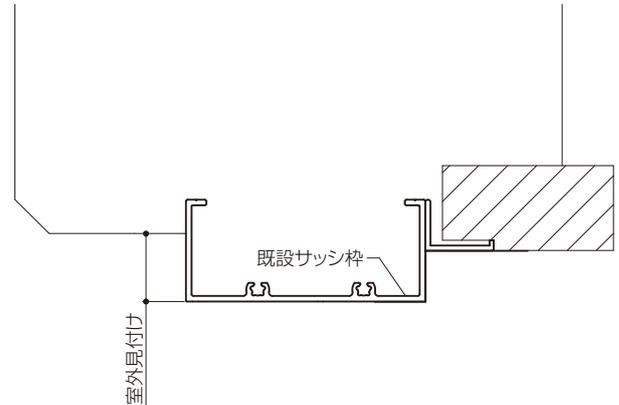
●切断手順

- ①裏面にある溝に合せてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
 ※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
- ②ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③切断した面をバリ取りしてください。

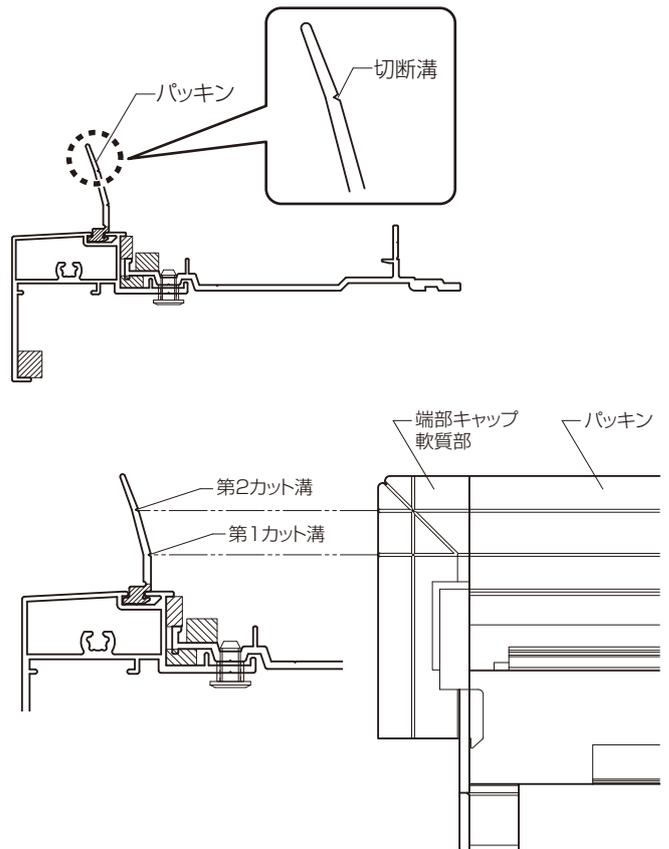


■防火仕様RC納まりの場合

1. 既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
 11mm≤室外見付け寸法<22mmの場合は2に進んでください。
 22mm≤室外見付け寸法≤30mmの場合はP.10に進んでください。

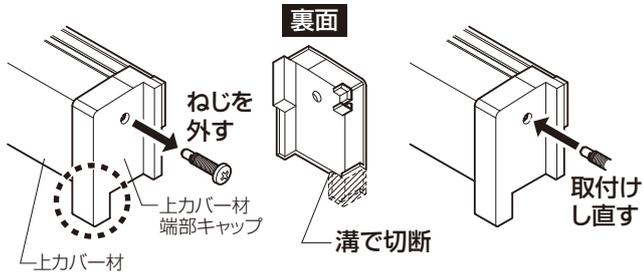


2. 上カバー材のパッキン、上カバー材端部キャップの軟質部を切断溝で切断してください。
 室外見付け寸法<13mm : 第1カット溝でカット
 13mm≤室外見付け寸法<22mm: 第2カット溝でカット

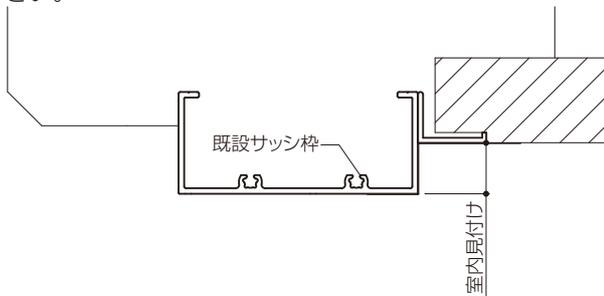


5 上ベース材・上カバー材の取付け(つづき)

- 面格子を取付ける場合は上部カバー材端部キャップを取外して、溝で切断して、取付けし直してください。

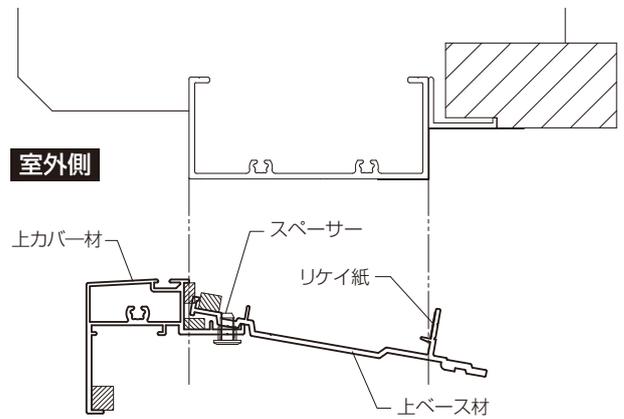


- ①既設サッシ枠の室内見付け寸法を確認してください。室内見付け寸法 $\geq 10\text{mm}$ の場合は②に進んでください。室内見付け寸法 $< 10\text{mm}$ の場合はP.11の②に進んでください。

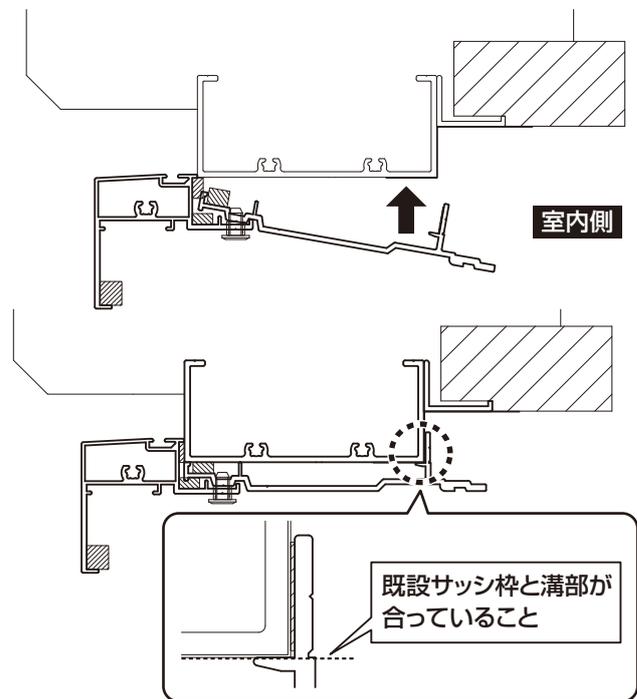


■既設サッシ枠の室内見付け寸法 $\geq 10\text{mm}$ の場合

- ②上ベース材のリケイ紙をはがして、下図のように室外側に振り出してください。
※上カバー材に付いている両端のスペーサー・ねじは外さないでください



- ③傾けた状態で長手方向でおおよそ左右の位置を均等にし、上ベース材を持ち上げてください。持ち上げた後、室内側を回転させて両面テープを既設サッシ枠の見付けに張付けしてください。



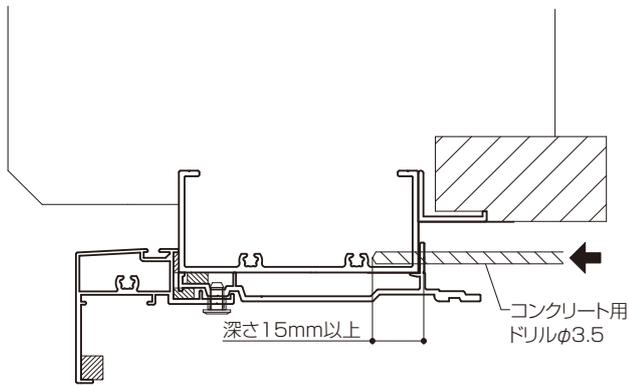
- 防火RC仕様の場合に上カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付けにくい場合は上ベース材と上カバー材を分離して、それぞれ取付けてください。

※分離した場合は部材の落下等に十分注意して取付けしてください。

5 上ベース材・上カバー材の取付け(つづき)

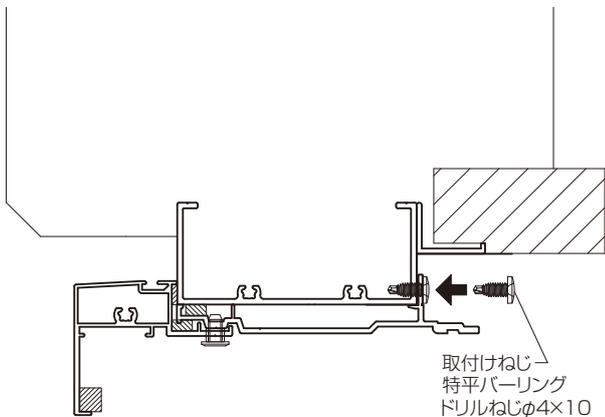
- ④コンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください。
(ハンマードリル推奨)

CHECK! 深さは15mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。



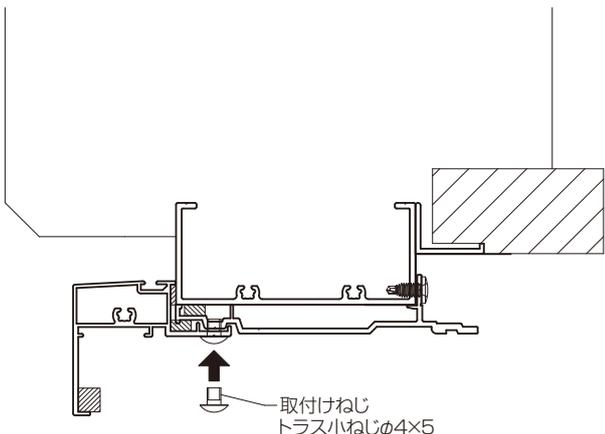
- ⑤取付けねじで既設サッシ枠にねじ止めしてください。

CHECK! ねじが締めきらない場合は、下記が考えられます。
・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。



※長穴部のねじ止めは不要です。

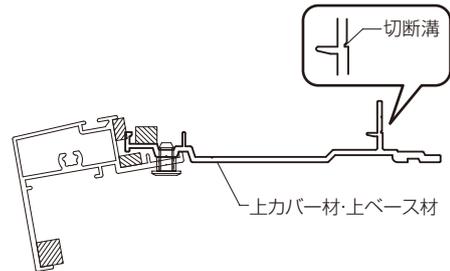
- ⑥上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、上ベース材にねじ止めしてください。



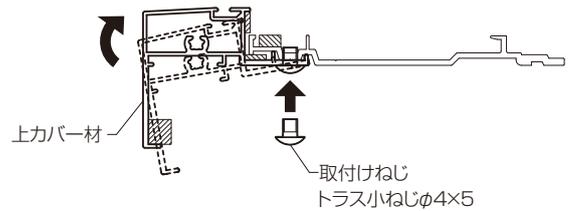
■室内見付け寸法<10mmの場合

- ②上ベース材を溝で切断してください。

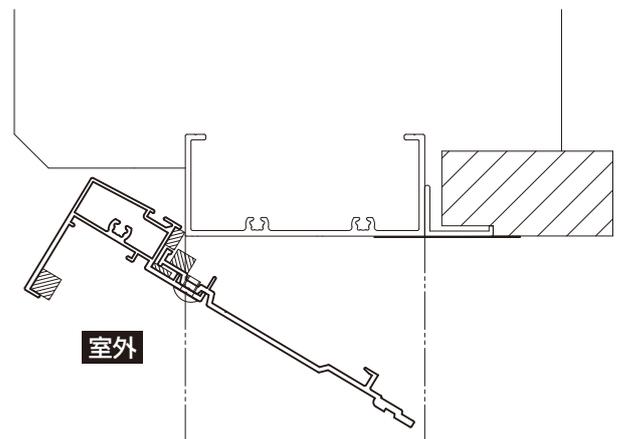
- ①裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
- ②ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③切断した面をバリ取りしてください。



- ③上カバー材を上ベース材にねじ止めしてください。



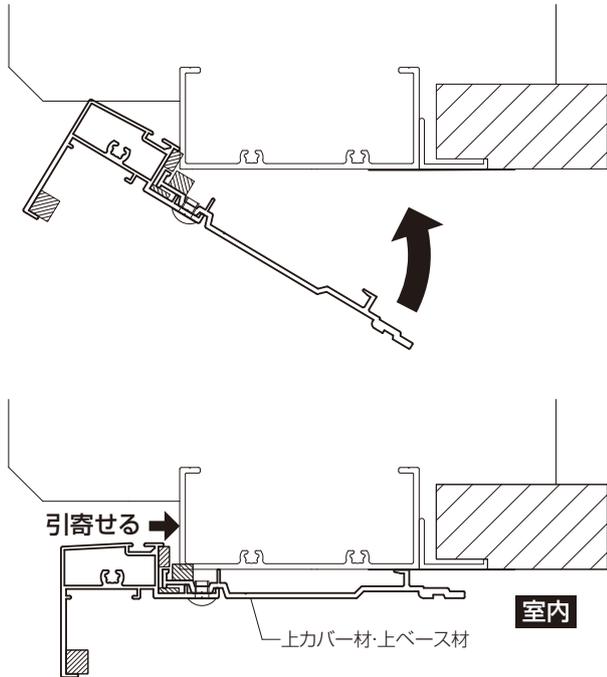
- ④下図のように室外に振り出してください。



⑤ 上ベース材・上カバー材の取付け(つづき)

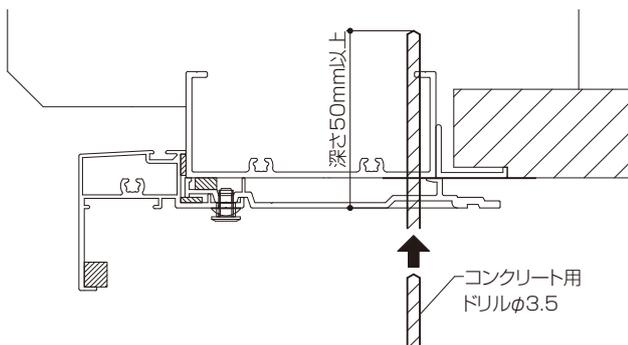
⑤長手方向でおおよそ左右の位置を均等にし、上ベース材を持ち上げてください。

持ち上げた後、室内に引き寄せしてください。



⑥コンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください。(ハンマードリル推奨)

CHECK! 深さは50mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。

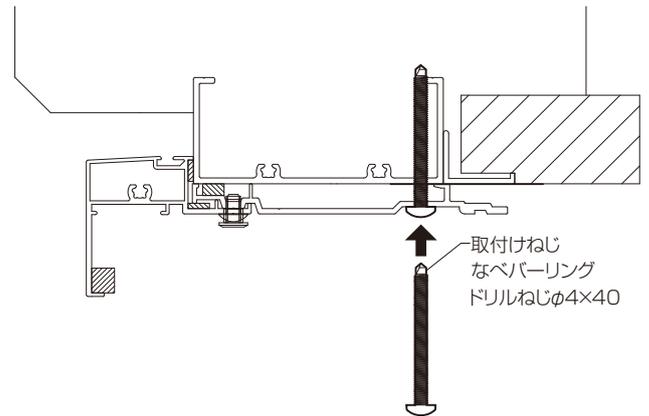


⑦取付けねじで既設サッシ枠にねじ止めしてください。

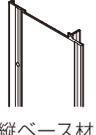
CHECK!

ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

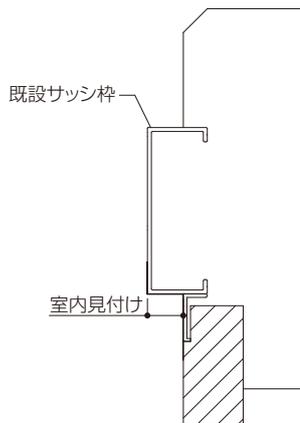
- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。



6 縦ベース材の取付け

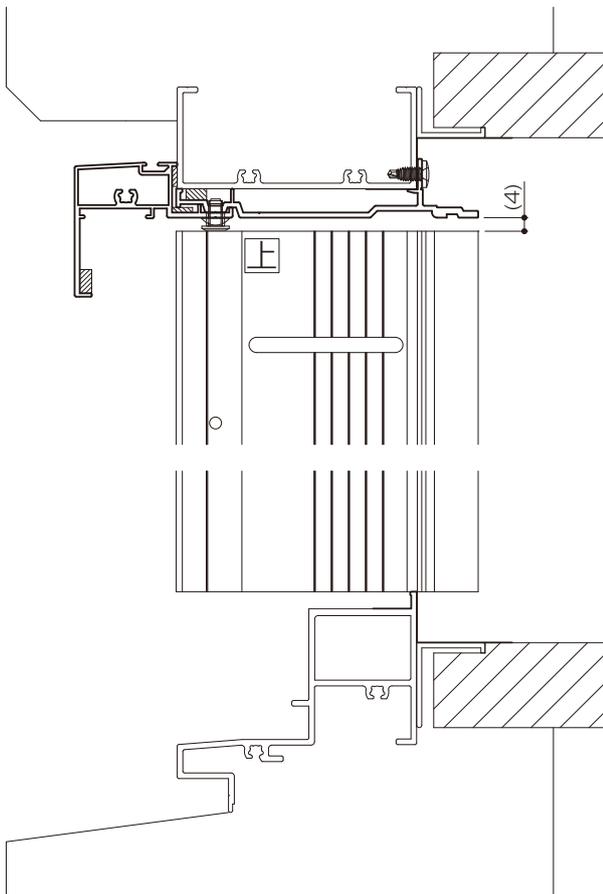
縦ベース材	取付けねじ	
 縦ベース材	縦ベース材(見付面) 取付けねじ  特平バーリングドリルねじ φ4×10	縦ベース材(見込面) 取付けねじ  なべバーリングドリルねじ φ4×40 (D8)

- ①既設サッシ枠の室内見付け寸法を確認してください。
室内見付け寸法 ≥ 10 mmの場合はP.13の②に進んでください。
室内見付け寸法 < 10 mmの場合はP.14の②に進んでください。

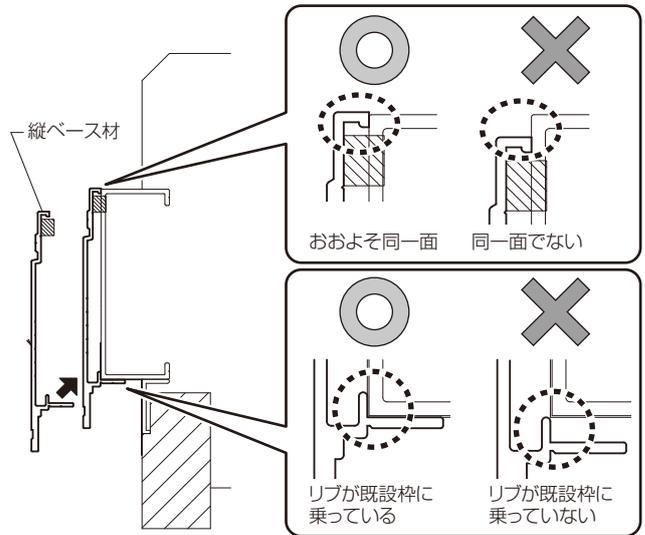


■既設サッシ枠の室内見付け寸法 ≥ 10 mmの場合

- ②縦ベース材を既設サッシ下枠に載せてください。

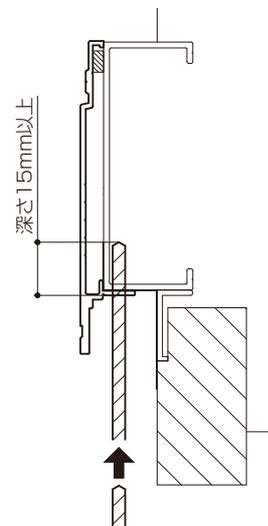


- ③縦ベース材を既設サッシ縦枠に当ててください。



- ④コンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください。(ハンマードリル推奨)

CHECK! 深さは15mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。



6 縦ベース材の取付け(つづき)

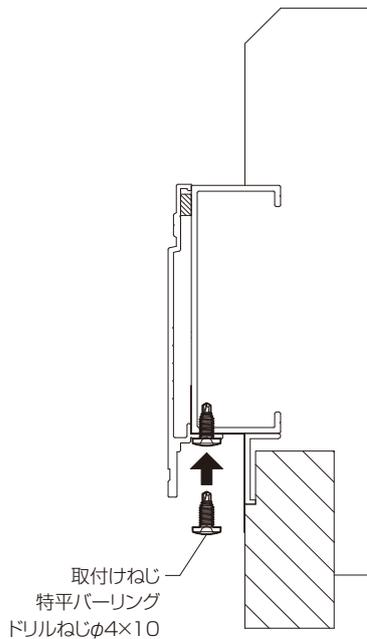
⑤取付けねじで既設サッシ枠にねじ止めしてください。

CHECK!



ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。



※長穴部のねじ止めは不要です。

■既設サッシ枠の室内見付け寸法<10mmの場合

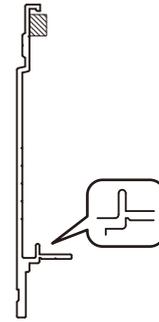
②縦ベース材を溝で切断してください。

①裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。

※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。

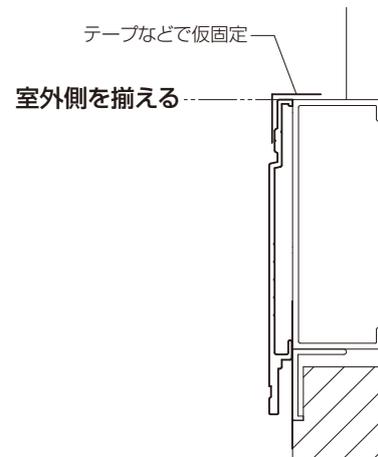
②ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。

③切断した面をバリ取りしてください。



③縦ベース材を既設サッシ下枠に乗せてください。

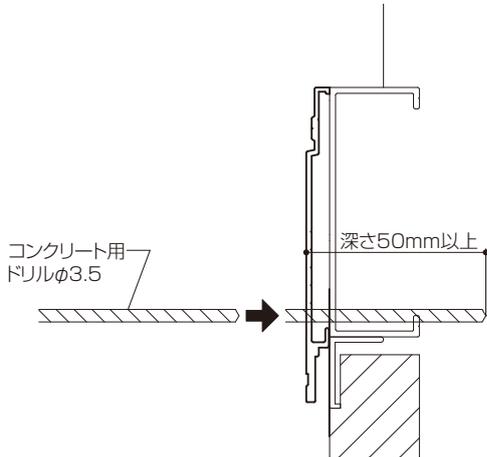
④縦ベース材を既設サッシ枠室外側を揃えてテープなどで仮固定してください。



6 縦ベース材の取付け(つづき)

⑤コンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください。(ハンマードリル推奨)

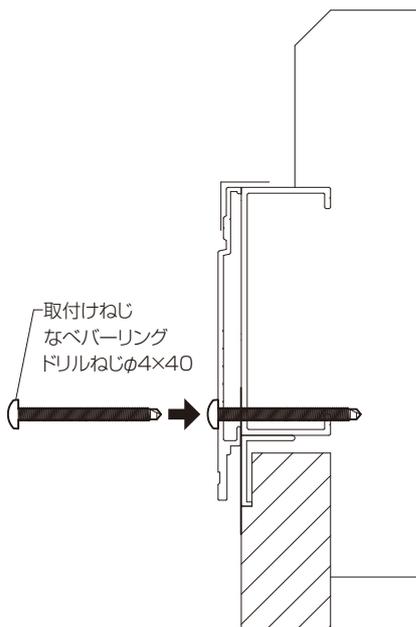
CHECK! 深さは50mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。



⑥取付けねじで既設サッシ枠にねじ止めしてください。

ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

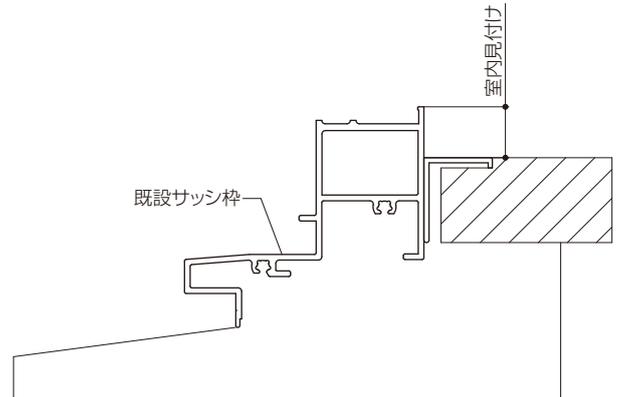
- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。



7 下チリアングルの取付け

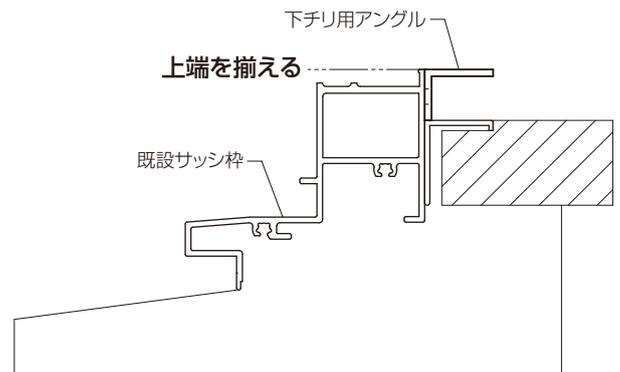
下チリ用アングル	取付けねじ
	下チリ用アングル取付けねじ
下チリ用アングル	 黒ベアリングドリルねじ φ4×13 (D7)

①既設サッシ下枠の室内見付け寸法を確認してください。室内見付け寸法 $\geq 15\text{mm}$ の場合は②に進んでください。0mm $<$ 室内見付け寸法 $< 15\text{mm}$ の場合はP.16に進んでください。室内見付け寸法 $\leq 0\text{mm}$ の場合はP.16に進んでください。

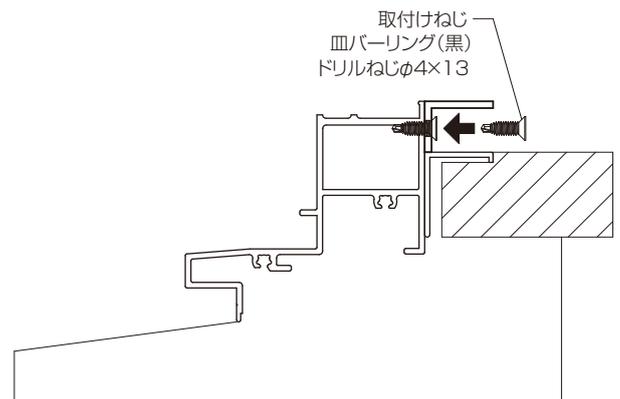


②下チリ用アングルのリケイ紙をはがして、長手方向でおおよそ左右を均等にし、既設サッシ枠と上端を揃えるように、既設サッシ枠の室内側フィンに仮固定してください。

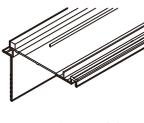
CHECK! 下チリアングルの上端と既設サッシ枠の上端を揃えてください



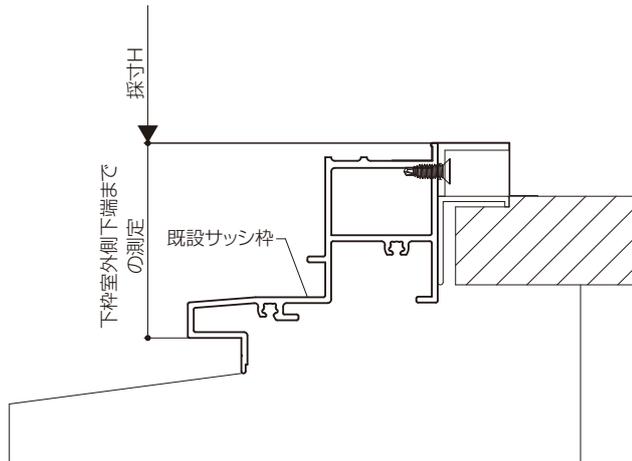
③下チリアングルをねじ止めしてください。



8 下ベース材の取付け(FIX窓以外)

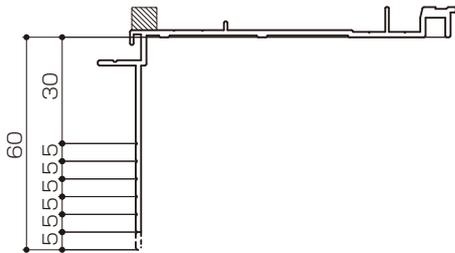
下ベース材	取付けねじ	
	下ベース材取付けねじ	下ベース材取付けねじ
下ベース材	なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平パーリングドリルねじ φ4×31 (D7)

①既設サッシ枠室外側下端までを測定してください。

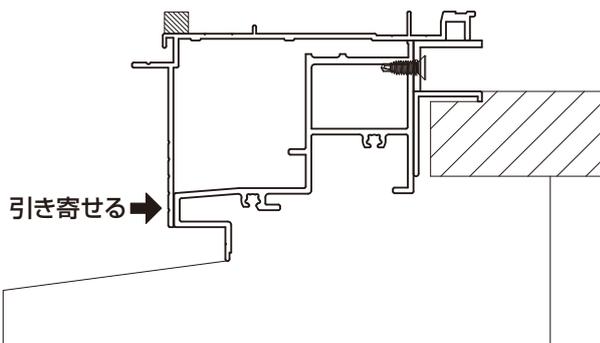


②測定した寸法より一つ下の溝で切断してください。

- ①溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
- ※アルミ材の厚みの6割以上切込んでください。
- ②ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③切断した面をバリ取りしてください。



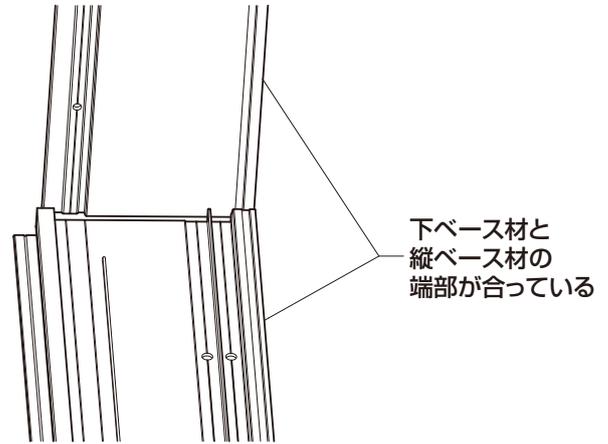
③下ベース材をおおよそ左右を均等に設置し、既設サッシ枠に当たるまで室内側に引き寄せてください。



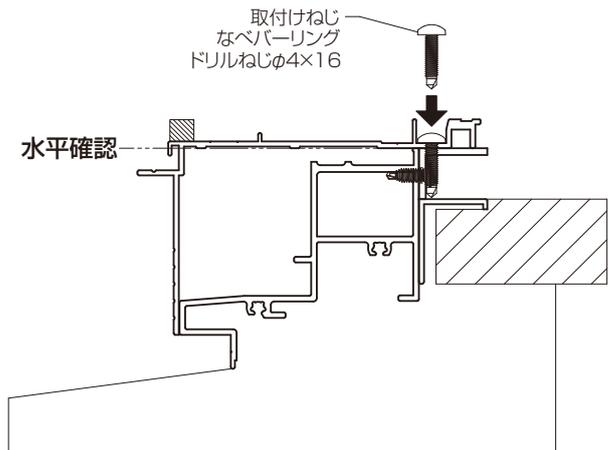
CHECK!



見込み位置が合っているかは、下ベース材と縦ベース材の端部で確認することができます。



④水平を確認しながらねじ止めしてください。

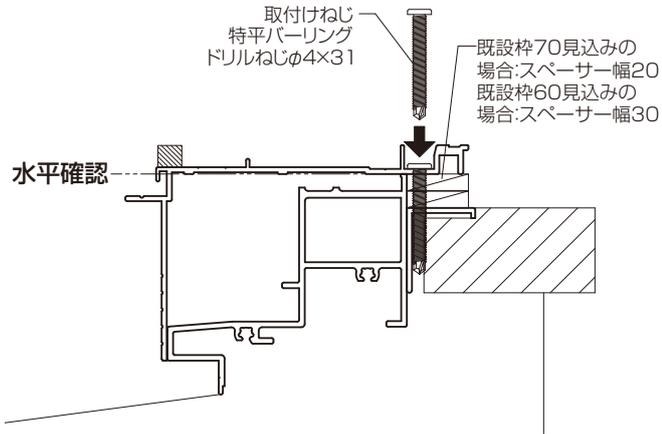


8 下ベース材の取付け(FIX窓以外)(つづき)

P.15で測定した既設下枠の室内見付け寸法が0mm<室内見付け寸法<15mmの場合は以下のように下ベース材をねじ止めしてください。

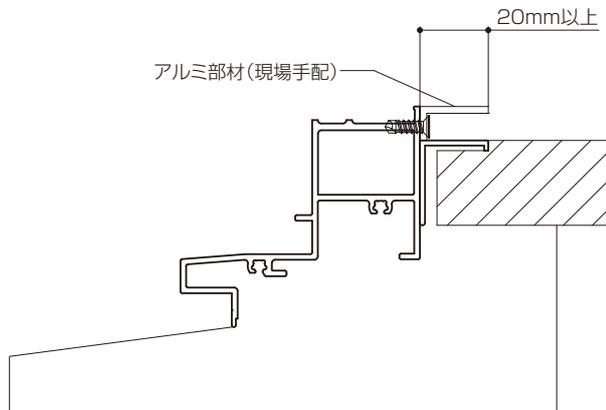
■非防火の場合

- ・既設上端と合わせるようにスペーサーを入れて、ドリルねじΦ4×31でねじ止めしてください。

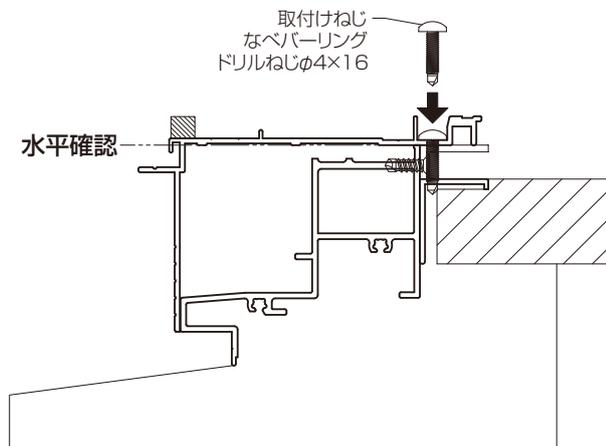


■防火の場合

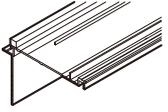
- 1.見込み寸法が20mm以上確保できるアルミ部材(現場手配)を既設枠に取付けしてください。



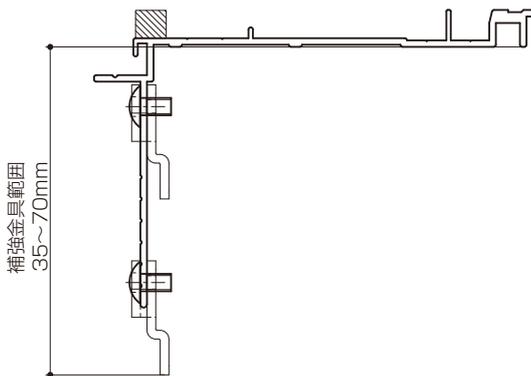
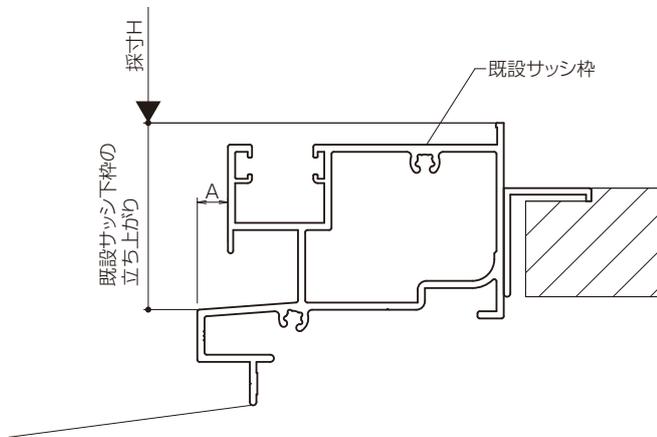
- 2.ねじ止めしてください。



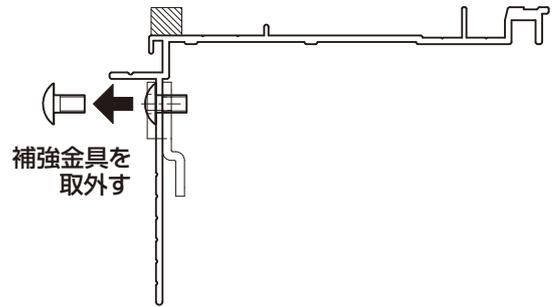
9 下ベース材の取付け(FIX窓)

下ベース材		
		
下ベース材		
取付けねじ		
下ベース材取付けねじ	下ベース材取付けねじ	補強金具固定ねじ
		
なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平パーリングドリルねじ φ4×31 (D7)	特平ドリルねじ φ4×8.5

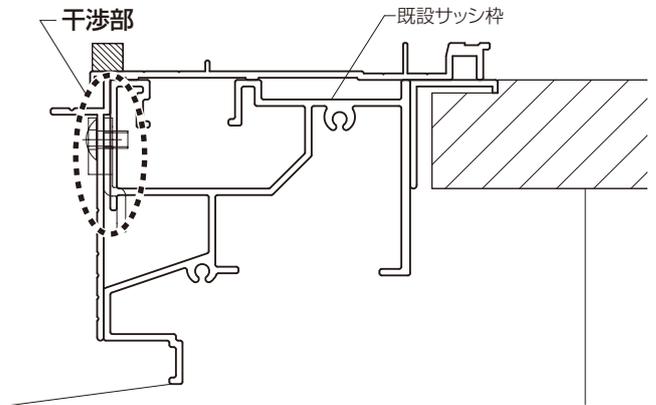
既設サッシ下枠の立ち上がりとA寸法を測定して、 $5\text{mm} \leq A$ かつ補強金具の範囲内か確認してください。



$A < 5\text{mm}$ かつ 既設サッシ下枠の立ち上がり $\leq 50\text{mm}$ の場合：
補強金具を外してください。



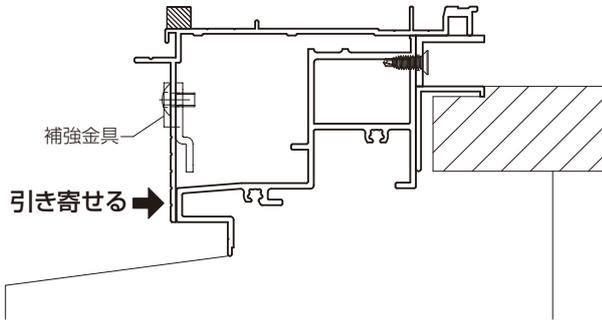
$A < 5\text{mm}$ かつ $50\text{mm} <$ 既設サッシ下枠の立ち上りの場合：
補強金具と干渉する既設サッシ下枠をカットしてください。



9 下ベース材の取付け(FIX窓)(つづき)

■補強金具ありの場合

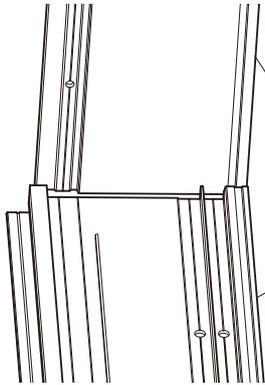
①下ベース材をおおよそ左右を均等に設置し、既設サッシ枠に当たるまで室内側に引き寄せてください



CHECK!

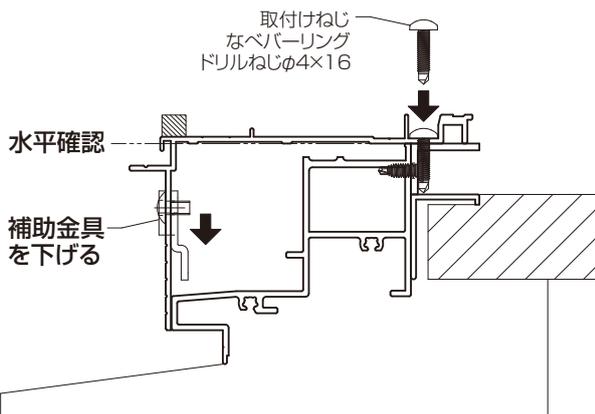


見込み位置が合っているかは、下ベース材と縦ベース材の端部で確認することができます。

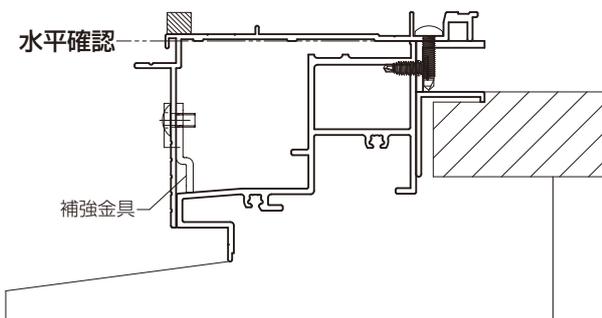


下ベース材と縦ベース材の端部が合っている

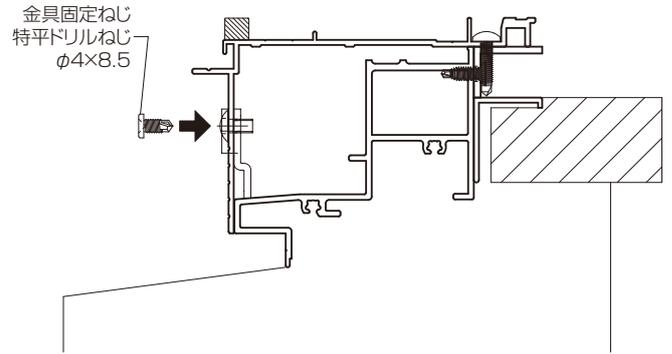
②補強金具を下げて水平を確認しながらねじ止めしてください。



③下ベース材が水平になるように補強金具を既設サッシ下枠に当てて調整してください。



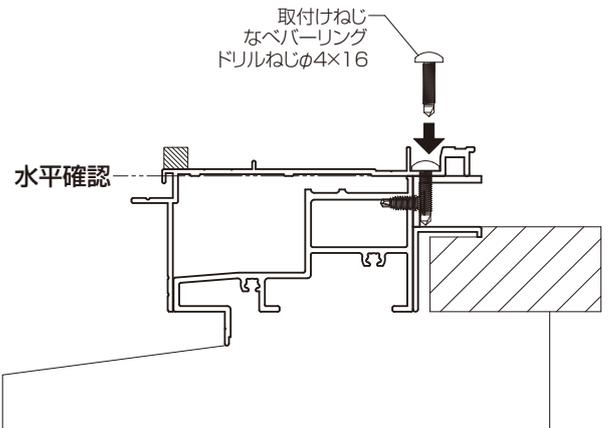
④ねじ止めしてください。



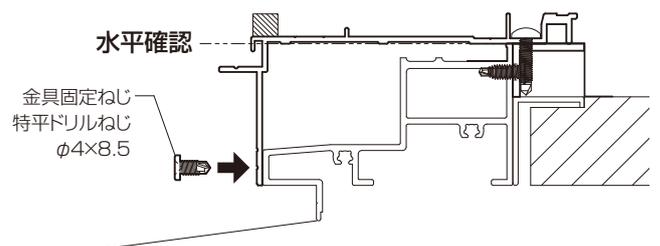
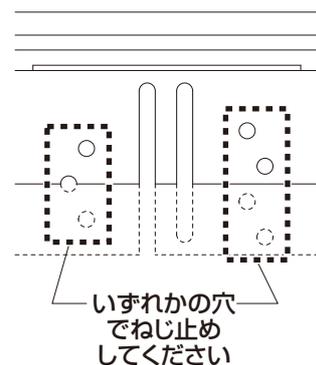
■補強金具なしの場合

①水平を確認しながらねじ止めしてください。

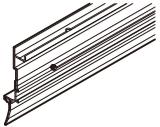
※水平が出ていない場合は、スペーサーを入れながらねじ止めしてください。



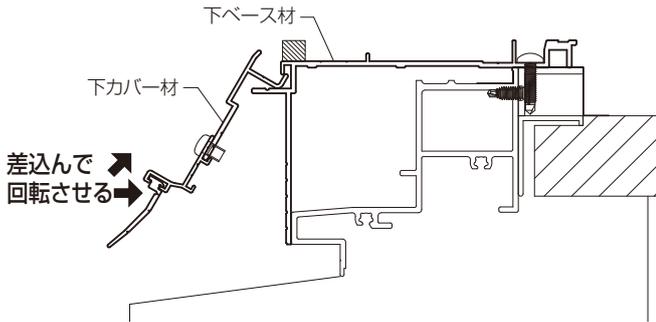
②下ベース材の水平を確認しながら下ベース材室外側のいずれかの取付け穴からねじ止めしてください。



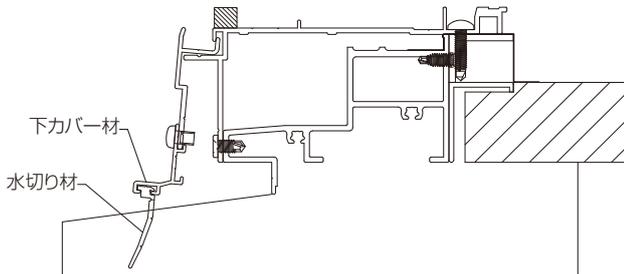
10 下カバー材の取付け

下カバー材	取付けねじ
	下カバー材取付けねじ 
下カバー材	なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)

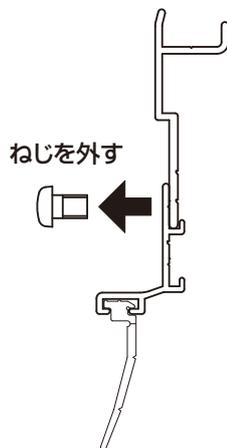
①下カバー材を下ベース材に差込み回転させて、下ベース材にねじ止めしてください。



■下カバー材が外壁などに干渉する、
または水切り材のあたりがきつい場合



1. 下カバー材のねじを外して、下カバー連結材を外してください。

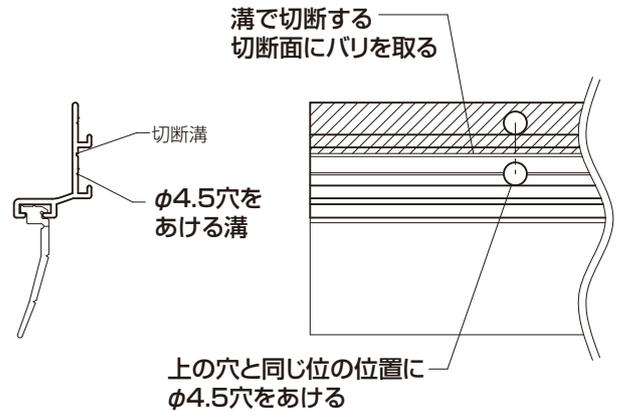


2. 溝で切断しバリ取りをしてください。バリ取り後φ4.5穴をあけてください。

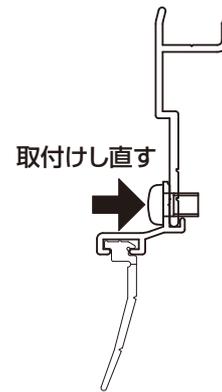
CHECK!



上の穴と同じくらいの位置にあけてください。



3. 取付け直してください。

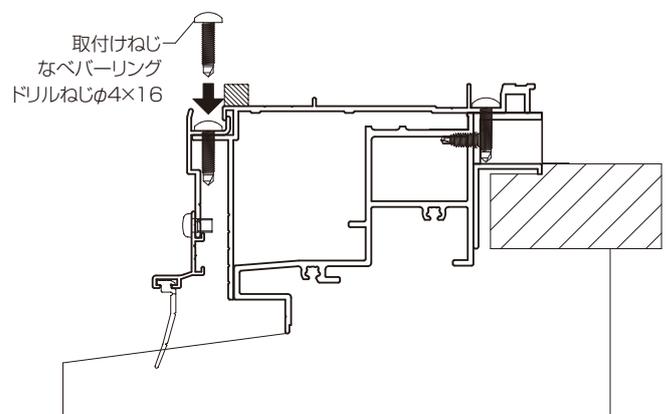


②下ベース材に下カバー材をねじ止めしてください。

CHECK!



基準の下穴が内観左にあいています。

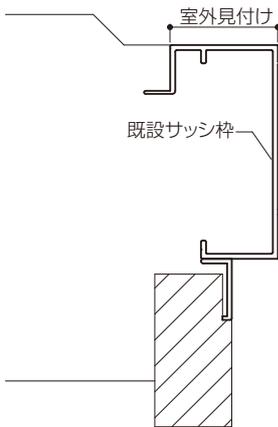


Ⅲ 縦カバー材の取付け

縦カバー材	取付けねじ
	縦カバー材取付けねじ
縦カバー材	 トラス小ねじ φ4×5

■ALC納まりの場合

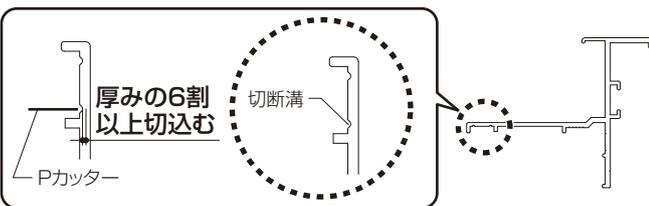
- ①既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
 室外見付け寸法<35mmの場合は②に進んでください。
 室外見付け寸法≥35mmの場合は③に進んでください。



- ②縦カバー材を切断手順を参考に溝で切断してください。

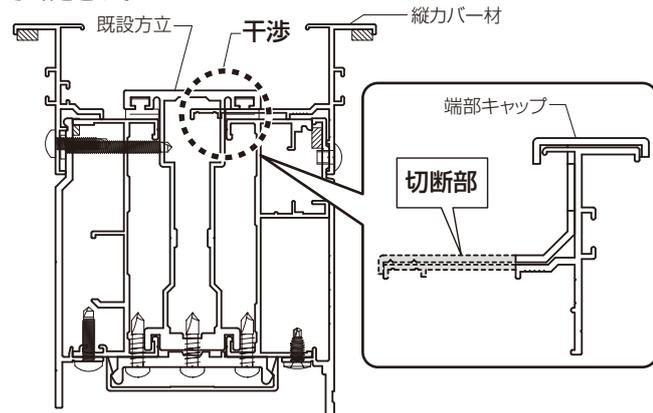
●切断手順

- 裏面にある溝に合せてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
 ※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
- ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- 切断した面をバリ取りしてください。

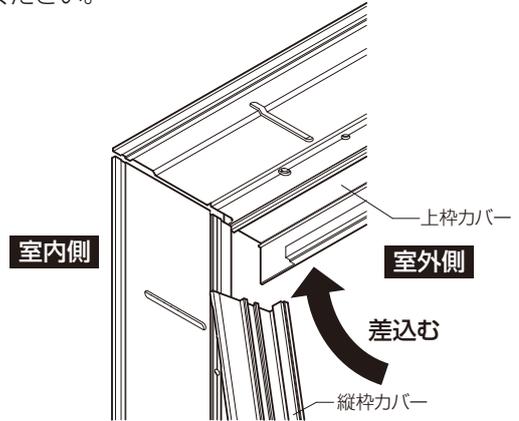


■ALC納まりの場合(連窓部)

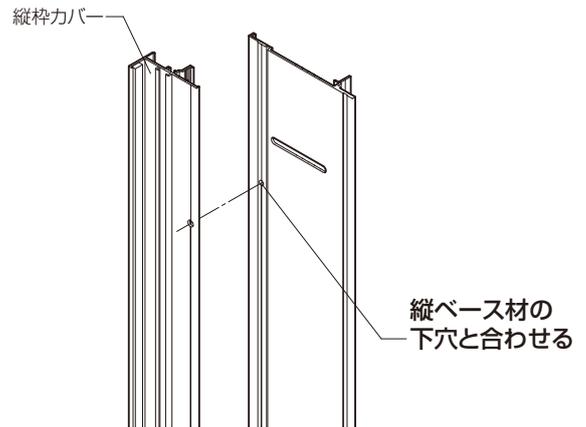
連窓側の縦カバー材、端部キャップについて干渉部を切断してください。



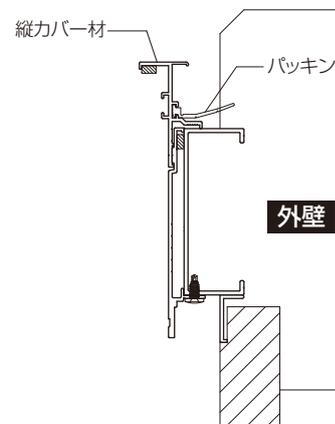
- ③縦カバー材を室外側から上カバー材端部の切欠きに差込んでください。



- ④縦カバー材を下に押し下げ、縦ベース材の下穴と取付け穴を合わせるようにしてください。

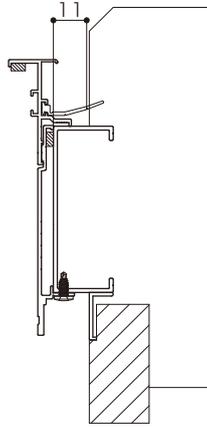


- 防火RC仕様の場合に縦カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付しにくい場合はパッキンをカットしてください。

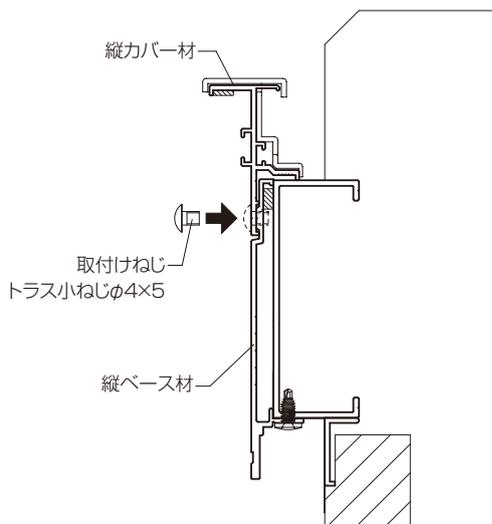


Ⅲ 縦カバー材の取付け(つづき)

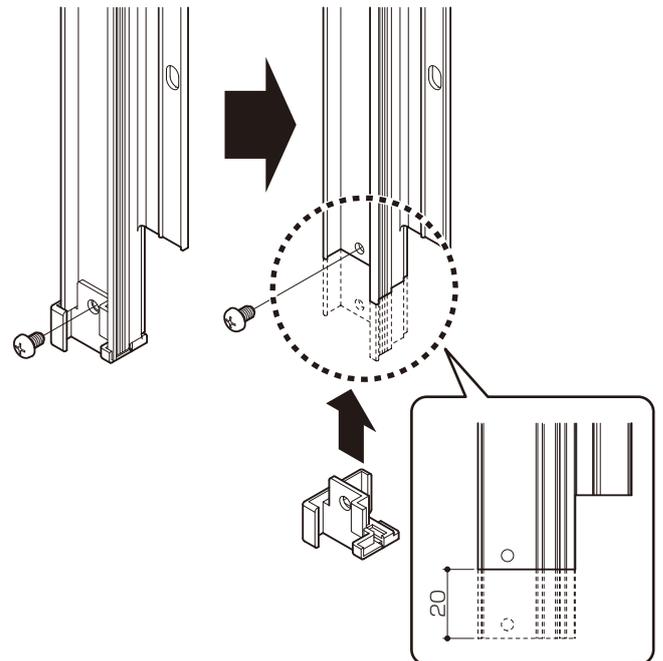
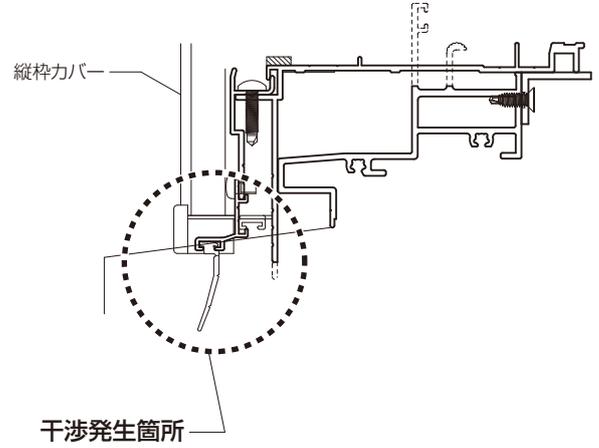
CHECK! パッキンをカットする際は既設サッシ枠がパッキンで必ず隠れることを確認してください。



⑤ 縦カバー材を縦ベース材にねじ止めしてください。



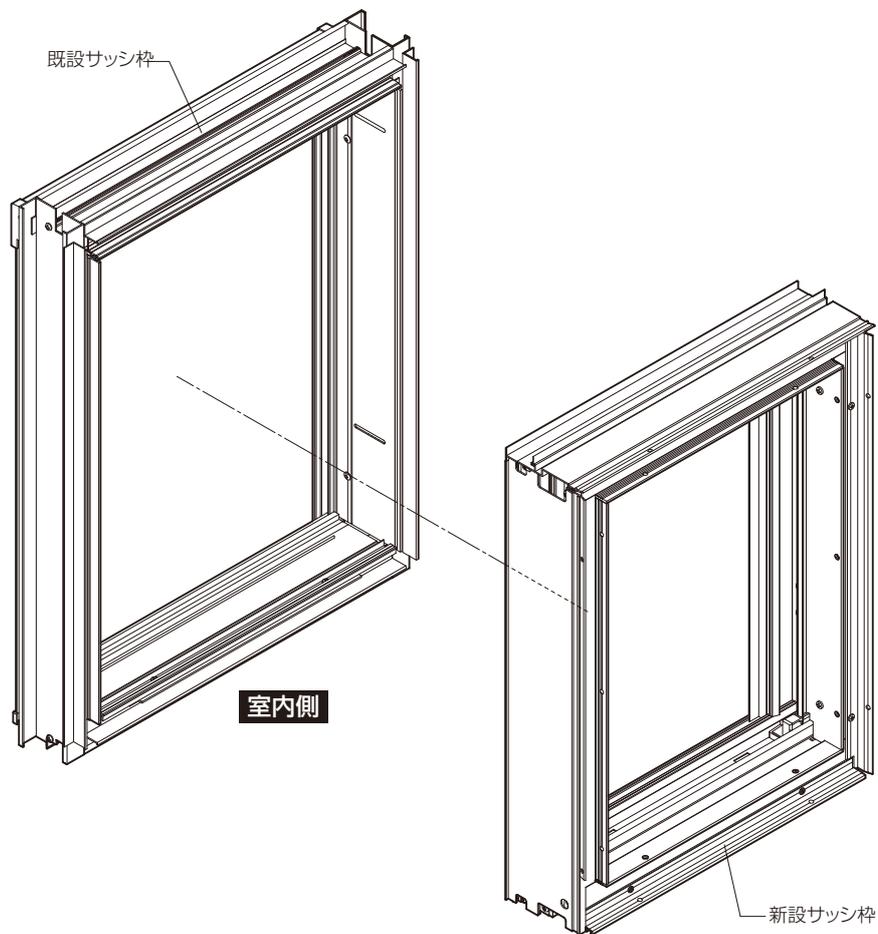
※ 縦カバー材が既設躯体に干渉する場合は、下端キャップを取外して、現場の状況に合わせて切断してください。下端キャップを当てながら下穴をあけなおして、下端キャップをねじ止めしてください。



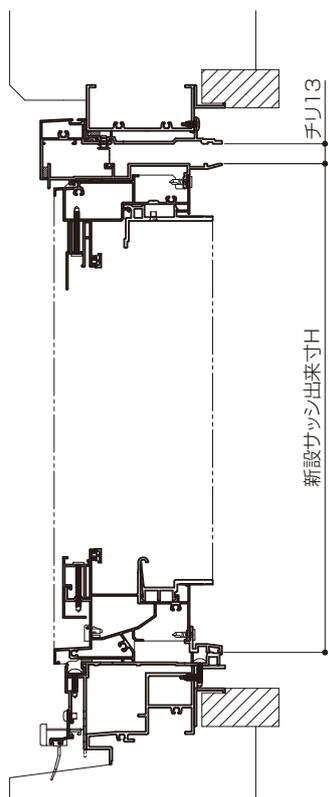
■新設サッシ枠の取付け

12 新設サッシ枠の建込み

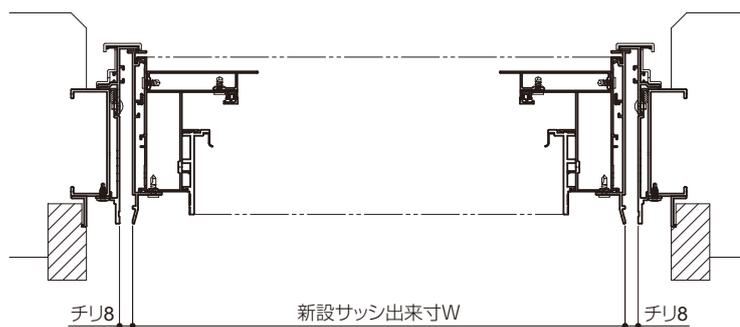
組立てした新設サッシ枠を既設サッシ枠室内側からスライドさせながら建込んでください。



●縦断面



●横断面



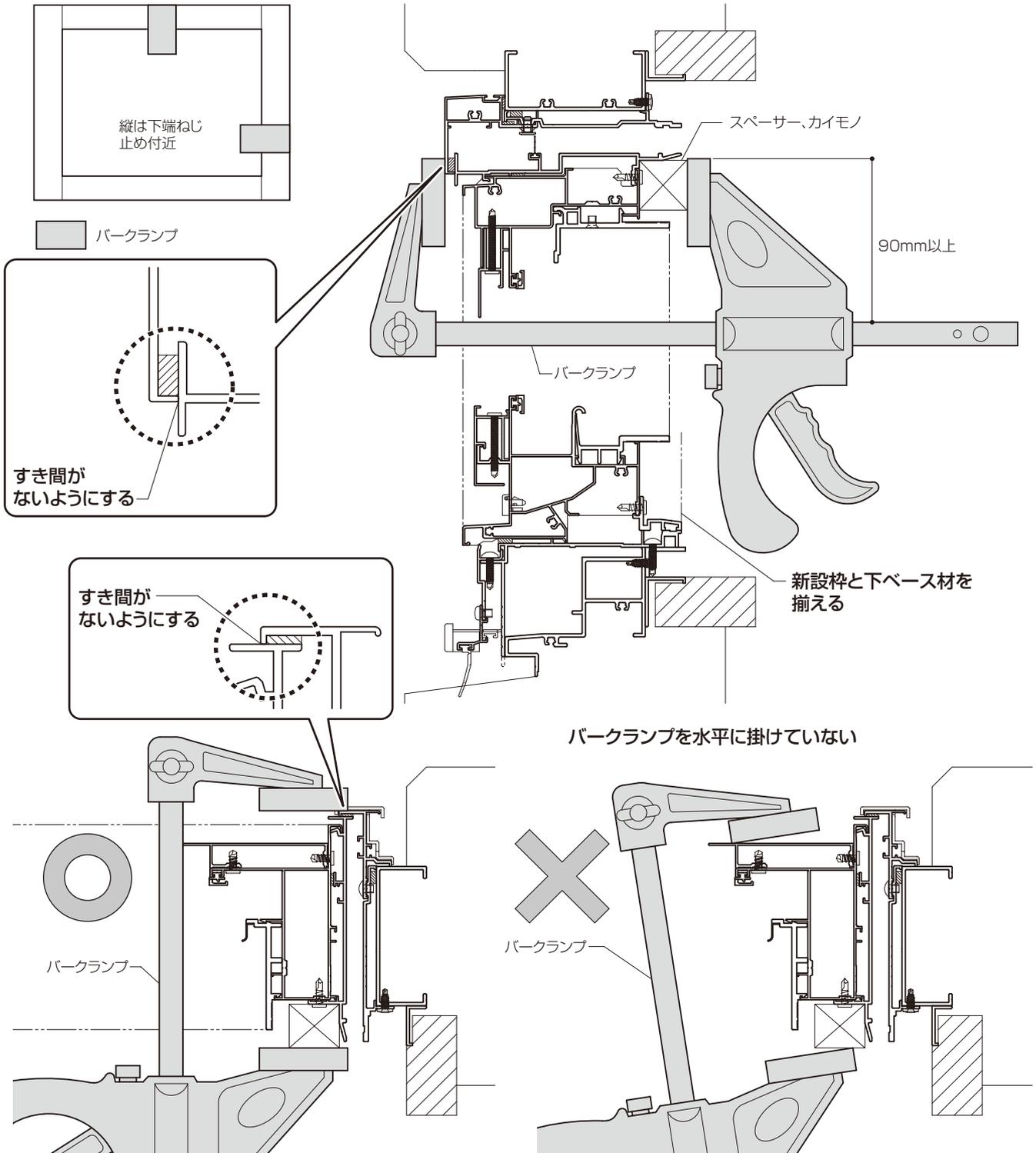
13 新設サッシ枠の仮固定

▲ 注意



●パークランプは水平に掛けて、止水材がつぶれるまでクランプしてください。クランプがゆるいと漏水の原因になります。

既設サッシ枠に対し、左右のチリを確認し、チリを均等にしてパークランプで仮固定してください。



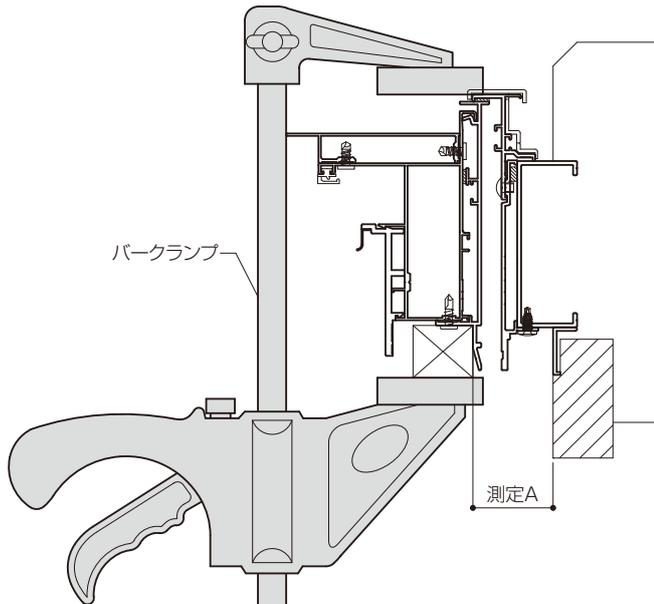
14 新設枠の取付け

下枠の水平が出ているか水準器などで確認し、水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。

下げ振り、水準器などで水平、垂直、対角を確認して、縦→下→上の順にねじ止めしてください。

■縦枠の取付け

①Aを測定し、30mm以下の場合は室内側でφ3.4下穴をあけてください。



②ねじを仮止め後、調整スペーサーを入れて水平・垂直を確認してください。

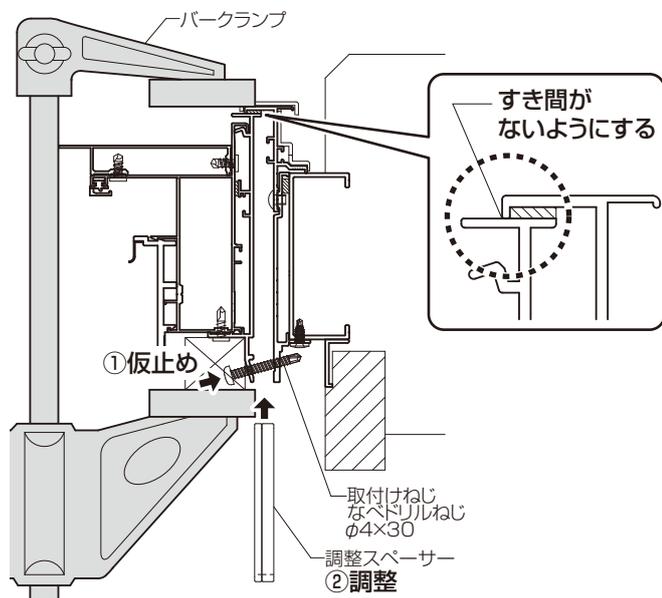
※下枠と下ベース材にすき間がないことを確認した上で縦枠を固定してください。

※ベース材の溝部を狙ってねじ止めしてください。

CHECK!

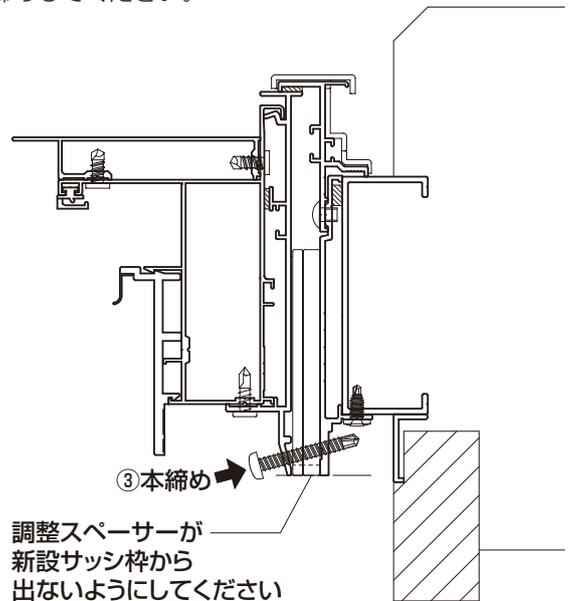


止水材がつぶれてすき間が無い事を確認してからねじ止めしてください。

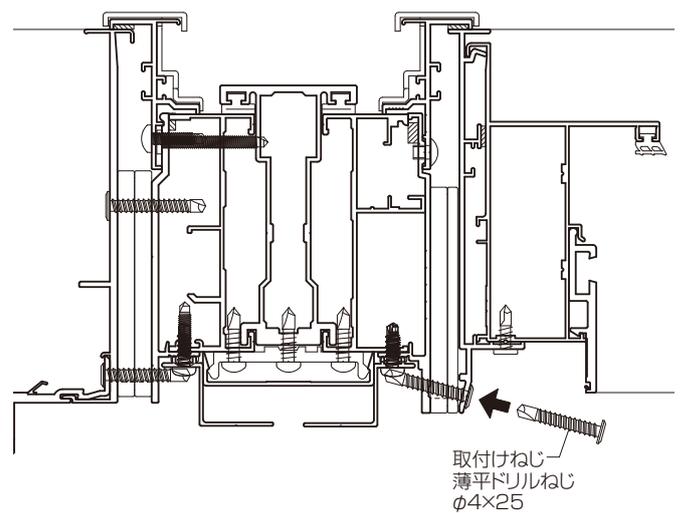


取付けねじ	
 なべドリルねじ φ4×30	 連窓方立部 薄平ドリルねじ φ4×25

③本締めしてください。



※連窓方立部は連窓方立カバー同梱のねじセットのねじを使用してください。

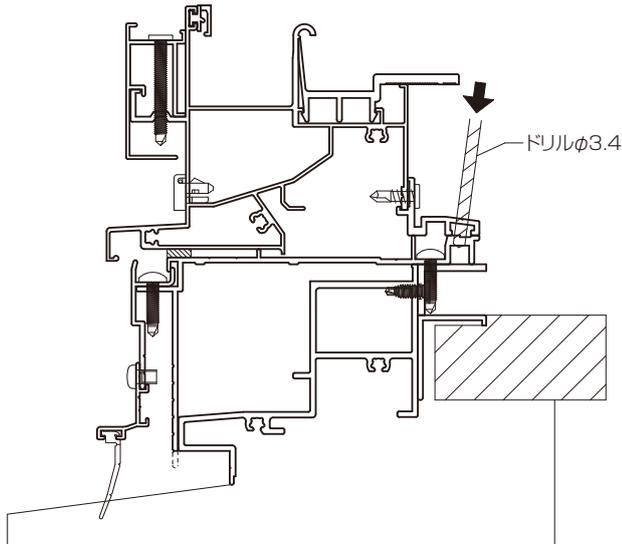


14 新設枠の取付け(つづき)

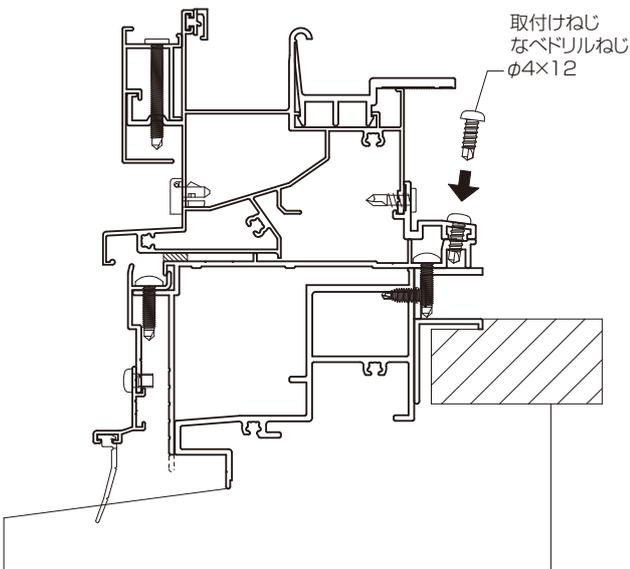
■下枠の取付け



①下枠の室内側ねじを止めやすくするため、φ3.4下穴をあけてください。



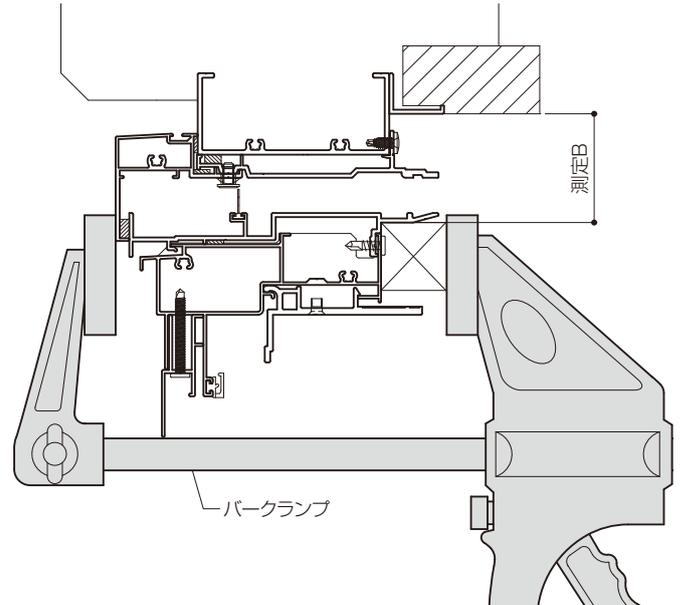
②ねじ止めしてください。
※ベース材の溝部を狙ってねじ止めしてください。



■上枠の取付け



①Bを測定し、30mm以下の場合は室内側でφ3.4下穴をあけてください。

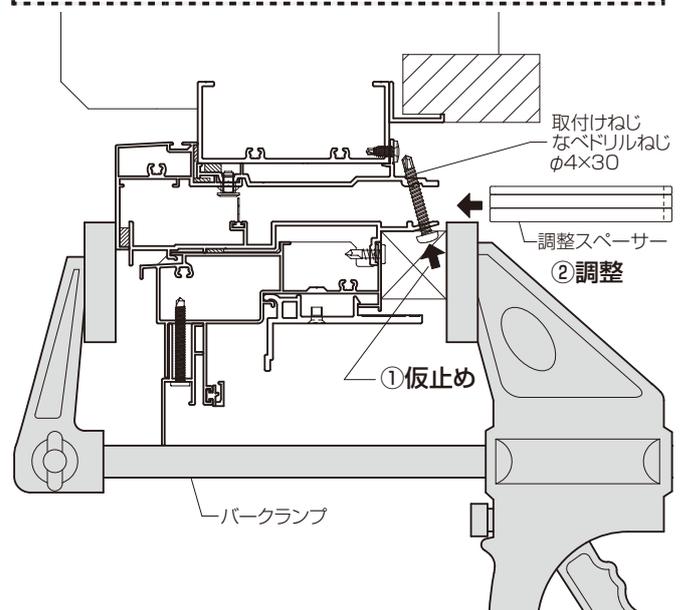


②ねじを仮止め後、調整スペーサーを入れて水平・垂直を確認してください。

※防火仕様の場合は必ず付属のアルミスペーサーを使用してください。
アルミスペーサーを使用しないと防火認定不適合となります。

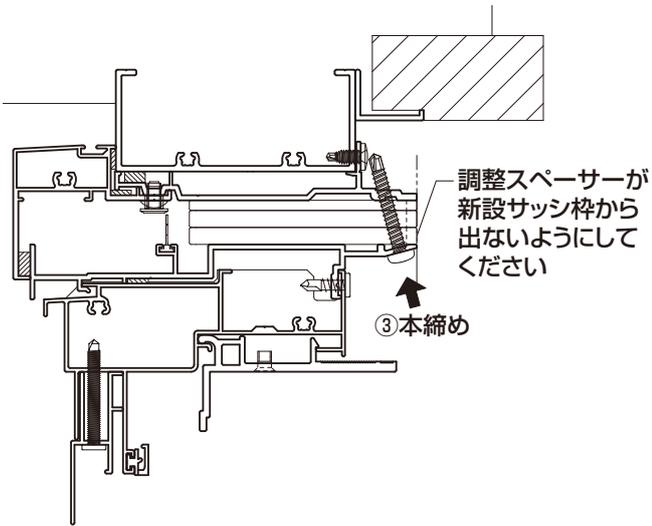
※ベース材の溝部を狙ってねじ止めしてください。

CHECK! 止水材がつぶれてすき間が無い事を確認してからねじ止めしてください。



14 新設枠の取付け(つづき)

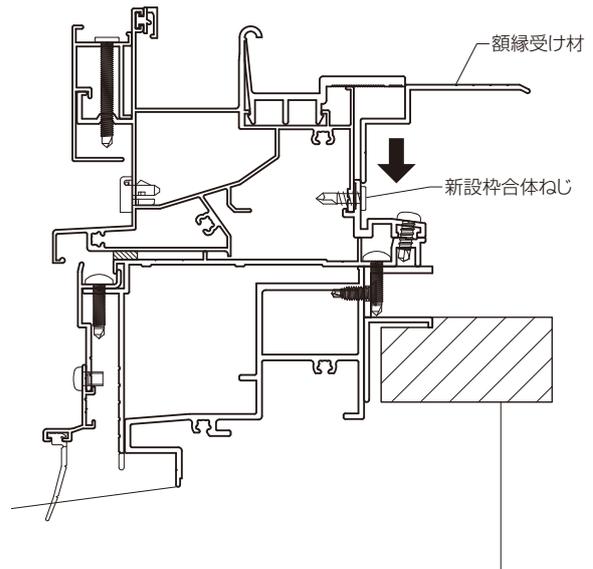
③本締めしてください。



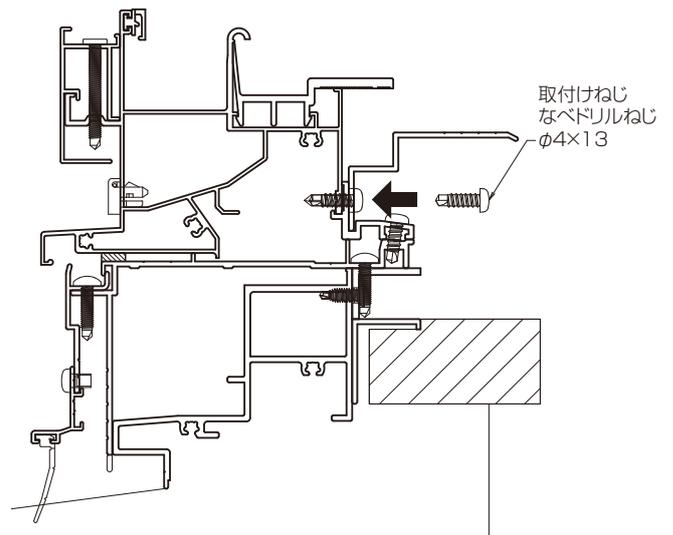
■システムバス同時交換の場合



①額縁受け材を新設枠合体ねじと受け材の切欠きを合わせて差込んでください。



②ねじ止めしてください。



15 気密テープの張付け

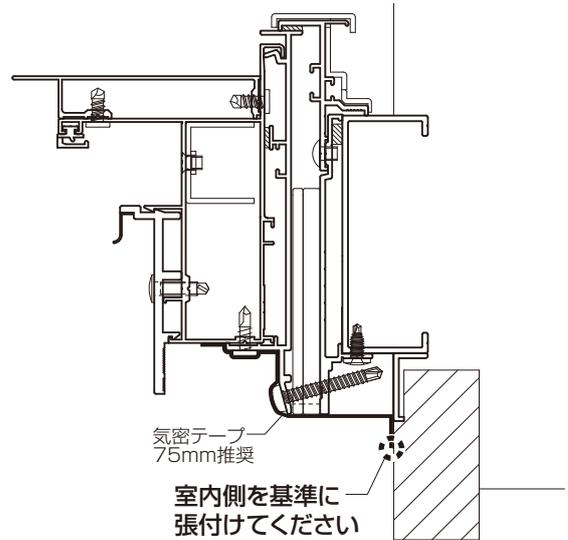
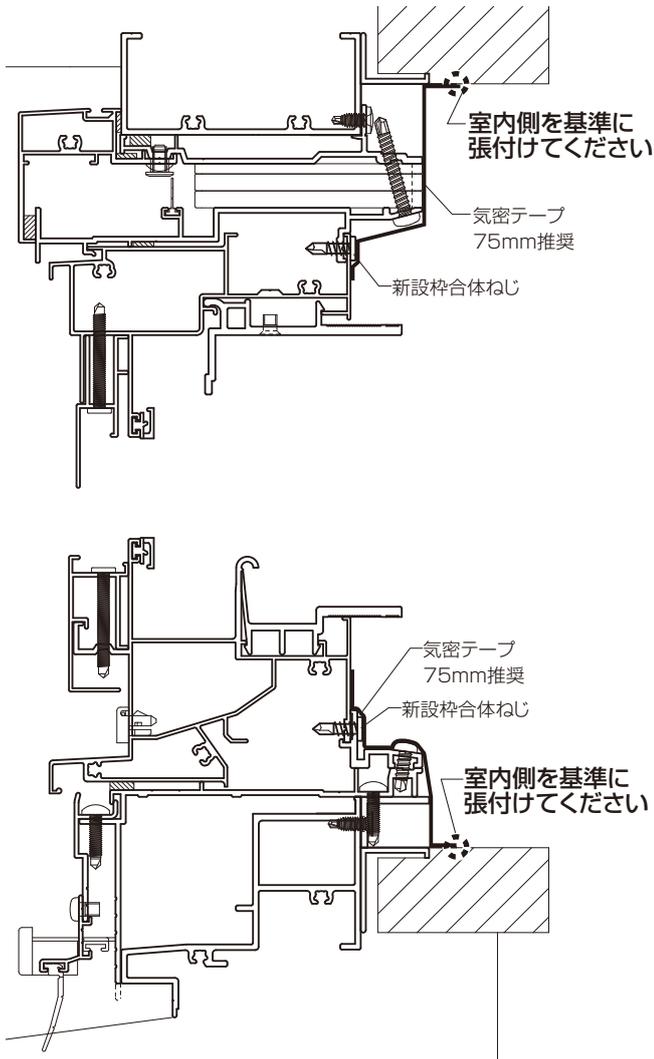
▲ 注意



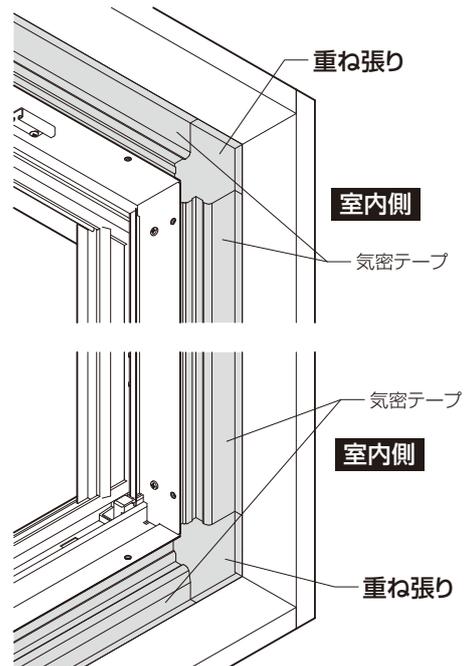
●既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。漏水の原因になります。

図を参考にローラー、へらなどを使用し、先に張付けた気密テープに気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。コーナー部は重ね合わせて張付けてください。

※新設枠合体ねじまで気密テープを張付けしてください。



●コーナー部



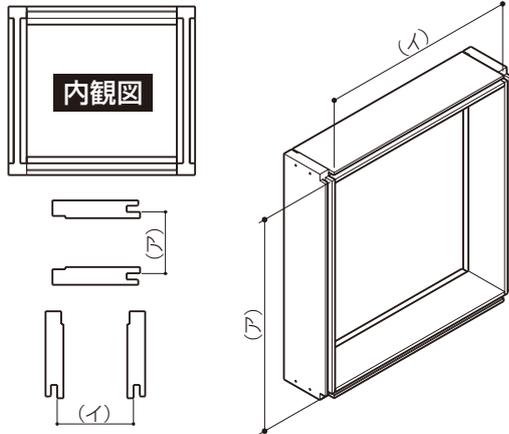
- ※室内仕上げがアングルカバー、見切材、納まりの場合は、アングルカバー同梱の説明書を参照してください。
- ※面格子を取付ける場合は面格子同梱の説明書を参照してください。
- ※室内仕上げがカバー用ケーシング納まりの場合はP.29に進んでください。
- ※新設障子の建付け調整、ガラス建込みはP.32に進んでください。

■有償品の取付け

Ⅰ 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)

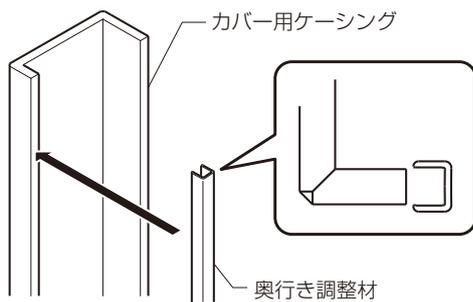
■DS窓枠の採寸

DS窓枠の溝間の寸法(ア)、(イ)(下図参照)を採寸してください。

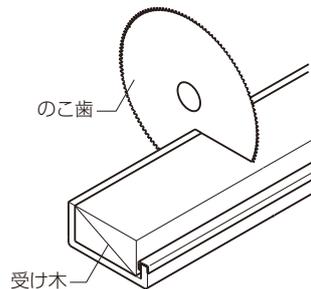


■ケーシングの切断

①奥行き調整材をカバー用ケーシングに取付けます。
※足の短い方に奥行き調整材を取付けてください。



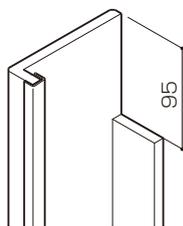
②切断します。
※切断する際は、受け木を入れてから切断してください。



〈縦枠・横枠切断寸法算出方法〉

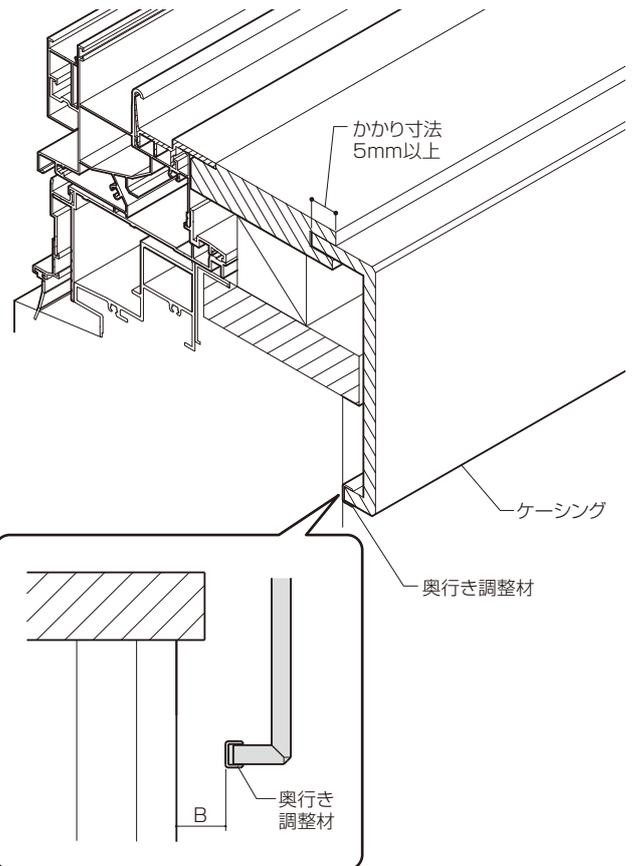
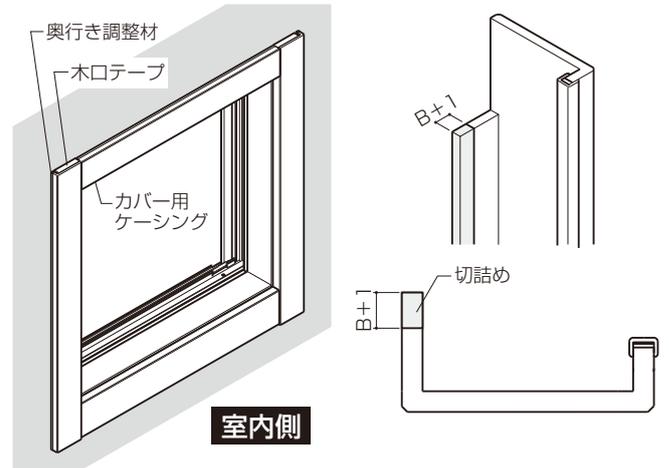
	四方枠
縦枠切断寸法	(ア)+210
横枠切断寸法	(イ)

③縦枠の足の部分に下図の寸法にて切欠きをしてください。
※四方枠の場合は上下に下図の切欠きを行ってください。



■ケーシングの取付け

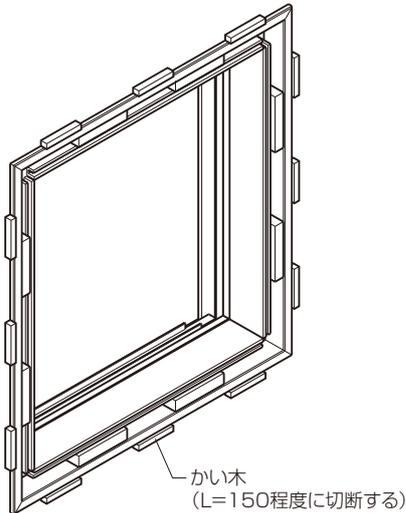
①枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
※壁面とすき間が生じる場合は、すき間の寸法分足を切詰めます。
※縦・横ケーシングの足が一律にケーシングの溝に5mm以上かかるようにしてください。



Ⅰ 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)(つづき)

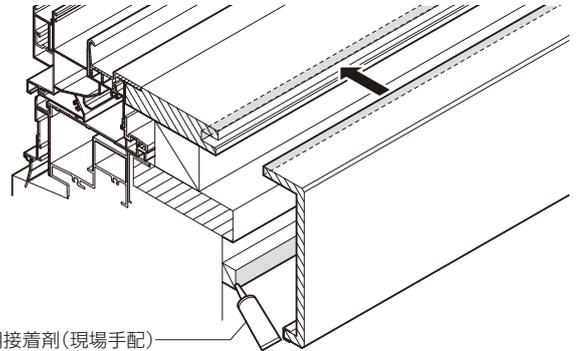
②ケーシングの取付け後のガタツキをなくすため、旧窓枠の室内側の四周外側に、同梱されているかい木を下記の図の要領にしたがってカクシ釘にて壁に固定してください。

※かい木を取付ける際、ケーシングが取付けられるかをあらかじめ確認してください。ケーシングが取付けられなくなる場合は、かい木を薄く切断して取付けてください。



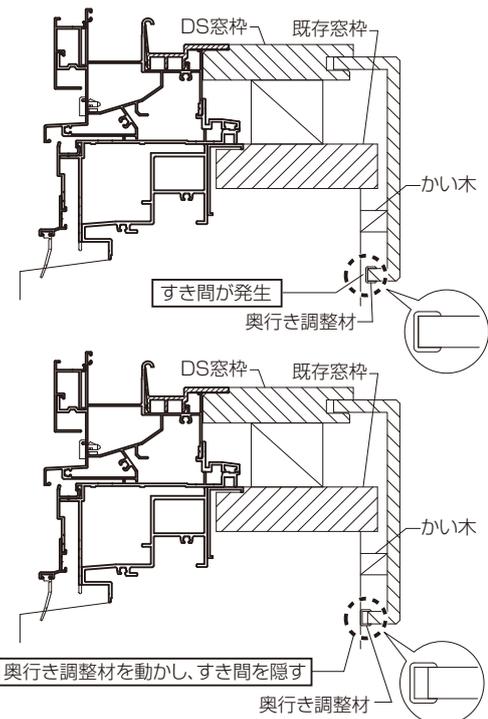
③下図のアミ掛け、ケーシングの足部にまんべんなく木工用接着剤(現場手配)を塗布した後、すき間、ズレの調整を行い、ケーシングを固定してください。

※仮止めをする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。



■調整方法

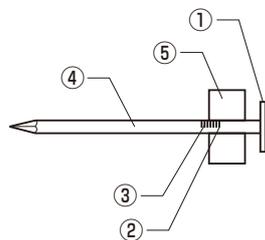
壁の不陸などにより、壁との間にすき間ができた場合は、奥行き調整材にて下図に示すように調整してください。



専用カクシ釘の使用法

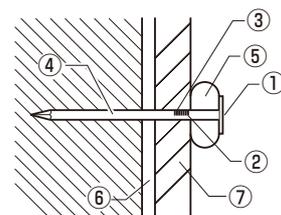
●各部名称

- ①釘頭 ②切断筋
- ③抜止め筋 ④残留釘
- ⑤弾力材 ⑥接着材
- ⑦部材
- ⑧パッチャルペンシル材



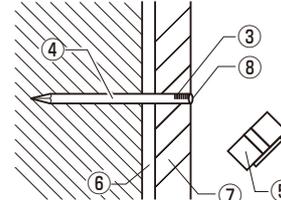
●仮止めする場合

釘頭①を打込むと切断筋②は部材⑦に入り込みこれで仮止め完了です。



●仮止めする場合

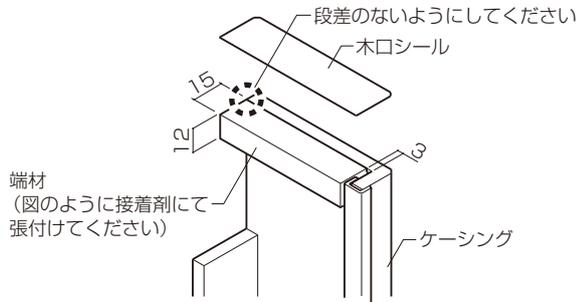
接着完了後、弾力材⑤を横からたたいて折付けます。抜止め筋③が働き「本止め」となります。



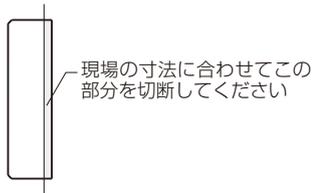
Ⅰ 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)(つづき)

■木口テープの張付け

縦枠端部に木口テープを張り、基材の露出部を隠してください。この時、木口テープがうまく接着できるように、端材などであらかじめすき間を埋めておいてください。



※木口シールは現場の寸法に合わせて切断してご使用ください。(奥行き調整により、若干切断寸法が変わってきますので、現場に合わせて切断してください。)



■ 新設障子の建付け調整、ガラス建込み

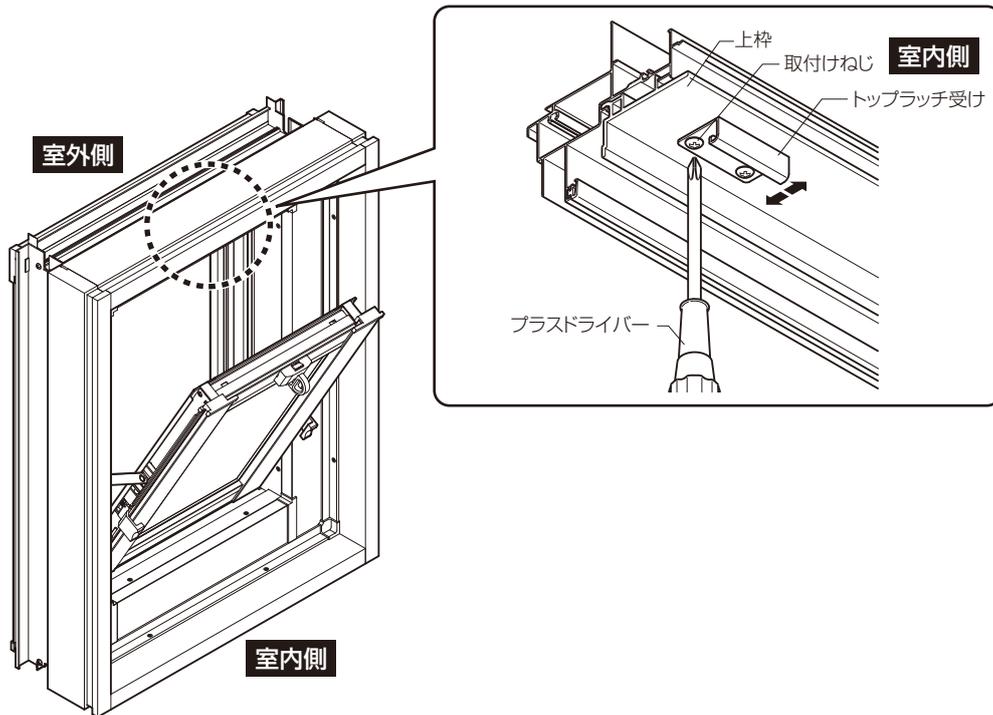
1 内倒し窓	P.33
2 FIX窓 内押縁	P.34
3 縦すべり出し窓 グレモン	P.36
4 横すべり出し窓 グレモン	P.38

I 内倒し窓

■トプラッチ受けの調整

●トプラッチがトプラッチ受けに掛からない場合、又は建込んだ障子がガタつく場合は、トプラッチ受けの取付けねじをゆるめて位置を調整し、取付けねじを締め直します。

※トプラッチ2個仕様の場合は2個ともトプラッチ受けにかかっていることを確認してください



※網戸の建込み・外れ止め調整は製品に張付けしているラベルを参照してください。

2 FIX窓 内押縁

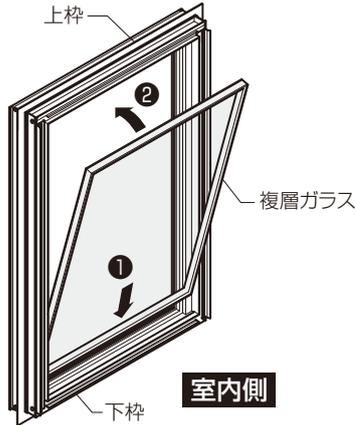
▲ 注意



- 複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。ガラスが外れるおそれがあります。

■ ガラスの建込み

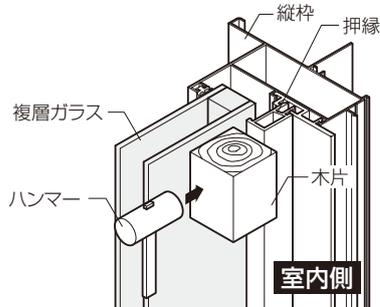
- 下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



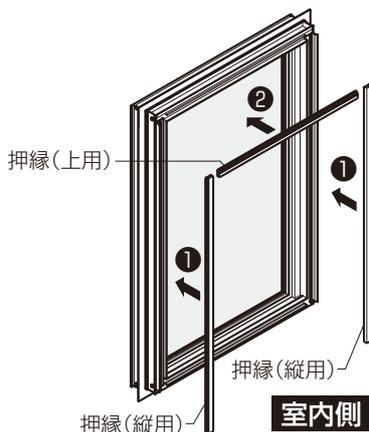
■ 押縁の取付け

取付け上のお願

- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。



- 縦→上の順に押縁を入れます。
- ※ 押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
- ※ 押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



▲ 注意



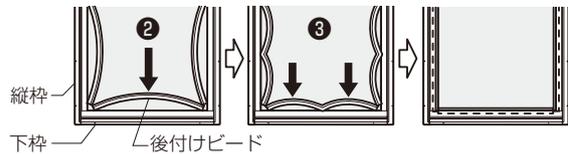
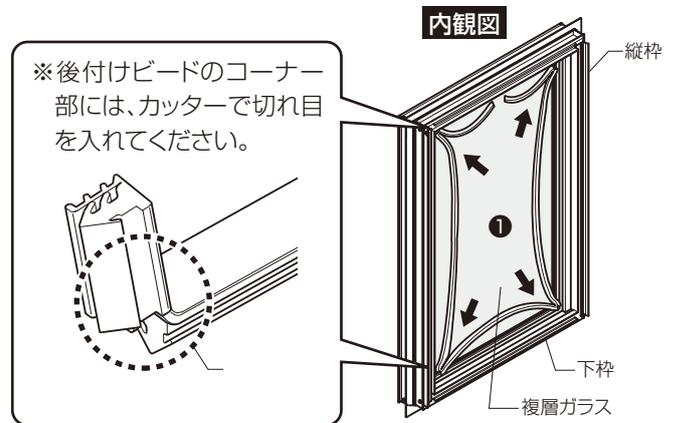
- 後付けビードは必ず指定のものを使用してください。ガラスが外れるおそれがあります。

■ 後付けビードの取付け

- 図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。

[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]

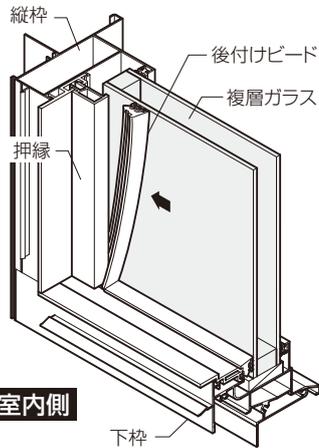
- 図の②③のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押込みます。



2 FIX窓 内押縁(つづき)

【ビードの押し込みがきつい場合】

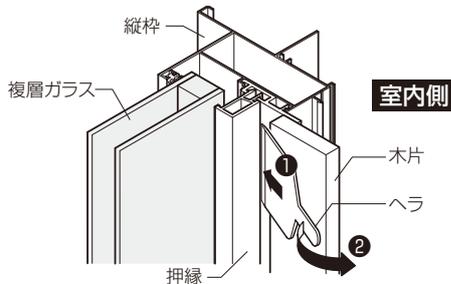
後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



室内側

■ガラスの外し方

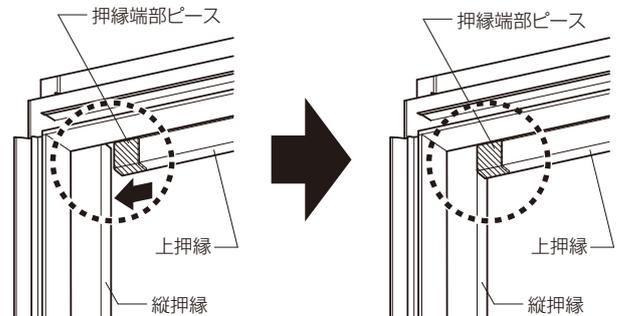
※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)



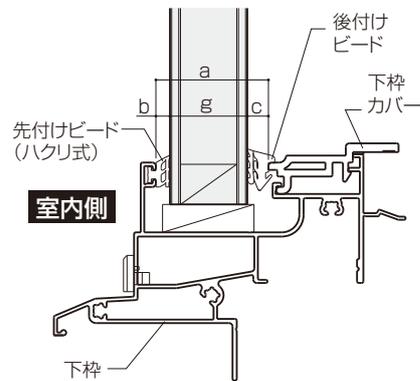
室内側

■押縁端部ピースの調整

●W>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。

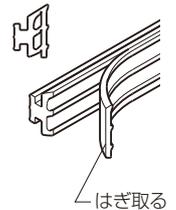


■ガラスビードの使用区分



室内側

■先付けビードのハクリ方法



■PG(複層ガラス)、TG(トリプルガラス)a=32

ガラス厚(g) (mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c) (別売り)
22	3-16-3	4	6
23	3-16-4	3 (ハクリ)	6 ECZ□33
24	4-16-4 6-12-6	4	4 ECZ□35
25	5-16-4	4	3
26	5-16-5 4-A8-1.3-A9.4	3 (ハクリ)	3 ECZ□36

3 縦すべり出し窓 グレモン

■障子の建付け調整

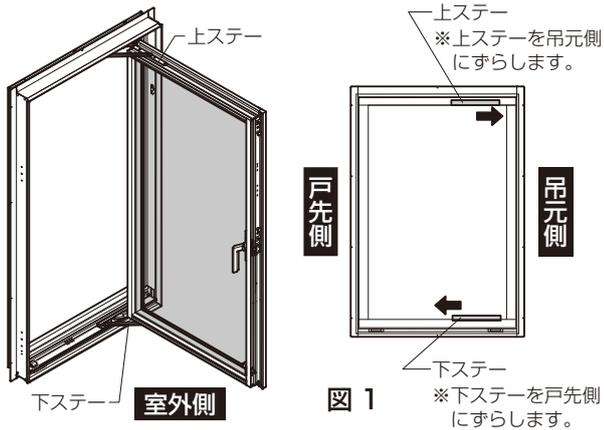
障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。

●上下ステーの調整

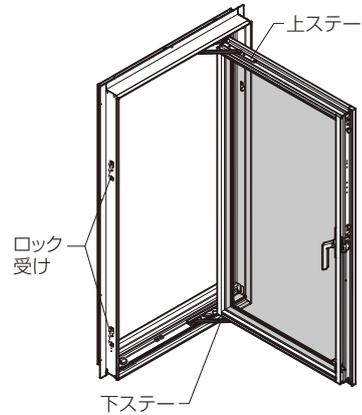
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。

※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。



ハンドル操作が重い場合

ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



●ロック受けの調整

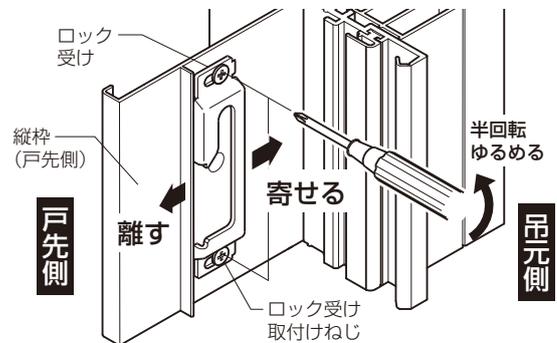
※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。

※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合] → 離す

[ハンドルの操作が軽い場合] → 寄せる



3 縦すべり出し窓 グレモン(つづき)

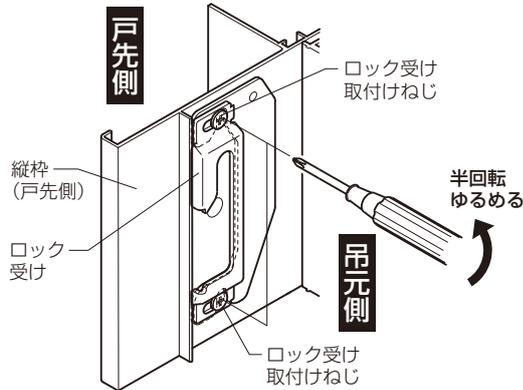
●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。

※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。(上下半回転)

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

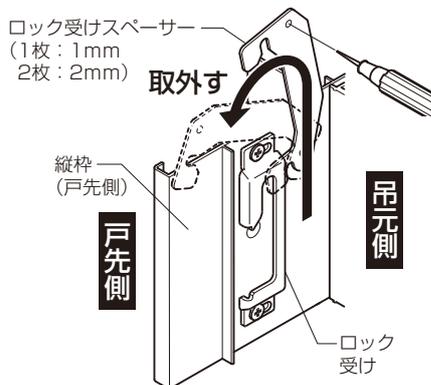
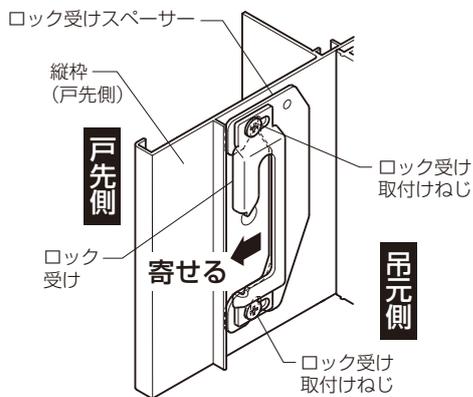


②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。

※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。

※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。

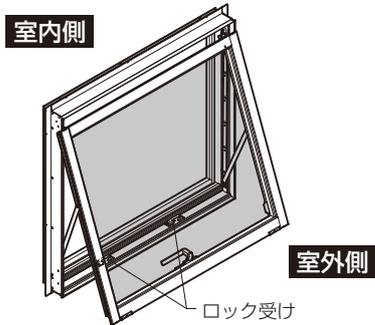
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(ロック受けの調整を参照)



4 横すべり出し窓 グレモン

●障子の建付け調整

ハンドル操作が重い場合、ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



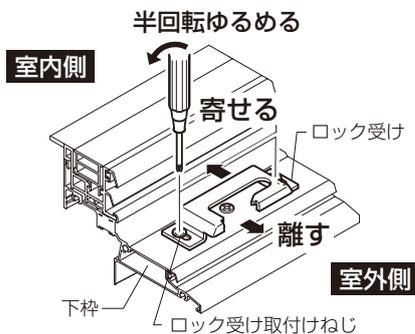
●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。

※ロック受け取付けねじをゆるめ(半回転)、位置を調整してください。

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合]→ 離す
[ハンドルの操作が軽い場合]→ 寄せる



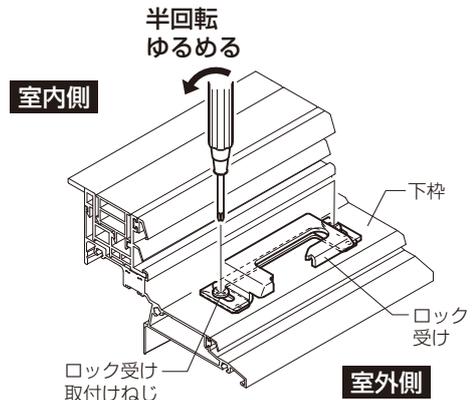
●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。

※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。(半回転)

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

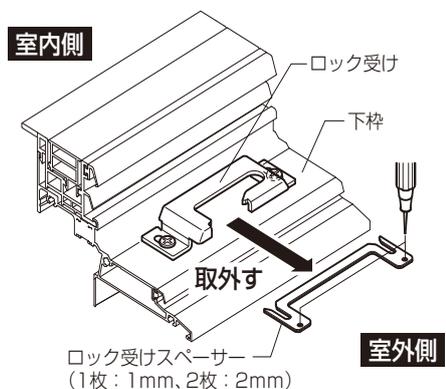
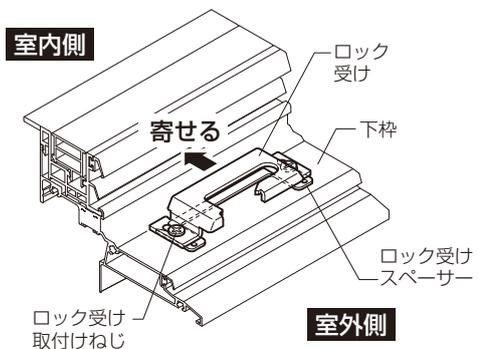


②ロック受けを室内側に寄せてから、スペーサーを取外します。

※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。

※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが下枠側に寄ります。

③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(ロック受けの調整を参照)



MEMO

MEMO
